

## (7) 文化・スポーツ施設

## ○ ホール・美術館

## ア 施設概要

## (ア) 施設一覧

区民の芸術文化等の振興を図り、区民生活、教育及び文化の向上に資するため、めぐろパーシモンホール等のホール施設を3施設及び目黒区美術館等の美術館・資料館を3施設、計6施設を設置しています。

ホール施設では、ホール施設の貸出し、文化振興のための講座及び講演会等の主催事業の開催を行っています。美術館・資料館では、資料等の収集・保管、資料の調査研究及び展示会等の開催を行っています。

図表 設置目的

名称	設置目的
めぐろパーシモンホール	目黒区における芸術文化の振興を図り、区民生活の向上に資するため
中目黒GTプラザホール	
中小企業センターホール	中小企業の振興を図るため
目黒区美術館	目黒区における美術の振興を図り、教育及び文化の向上に資するため
めぐろ歴史資料館	目黒区の歴史に関する区民の理解を深め、生涯学習の振興に寄与するとともに、広く教育、学術及び文化の発展に資するため
すずめのお宿緑地公園古民家	文化財の展示公開

図表 事業内容

名称	事業内容
めぐろパーシモンホール	芸術文化の振興、芸術文化活動の支援 文化ホールの施設の利用に関すること
中目黒GTプラザホール	
中小企業センターホール	講座及び講演会等を実施 中小企業センターの施設の利用に関すること
目黒区美術館	美術作品及び美術に関する資料の収集、保管、展示、美術に関する調査研究 展覧会、講演会、映画会及び造形講座等の開催 区民ギャラリーの利用に関すること
めぐろ歴史資料館	目黒区の歴史及び文化に関する資料の収集、整理、保管及び調査研究 目黒区の歴史及び文化に関する展示、講演会の開催、刊行物の発行等
すずめのお宿緑地公園古民家	維持管理、展示公開、年中行事の再現や体験学習等

(7) 文化・スポーツ施設 ○ ホール・美術館

ホール施設は、めぐろパーシモンホール、中目黒GTプラザホール、中小企業センターホールの3施設です。めぐろパーシモンホールは、めぐろ区民キャンパス内に、中目黒GTホールは、中目黒駅前に、中小企業センターホールは、目黒区民センター内に、それぞれ設置しています。

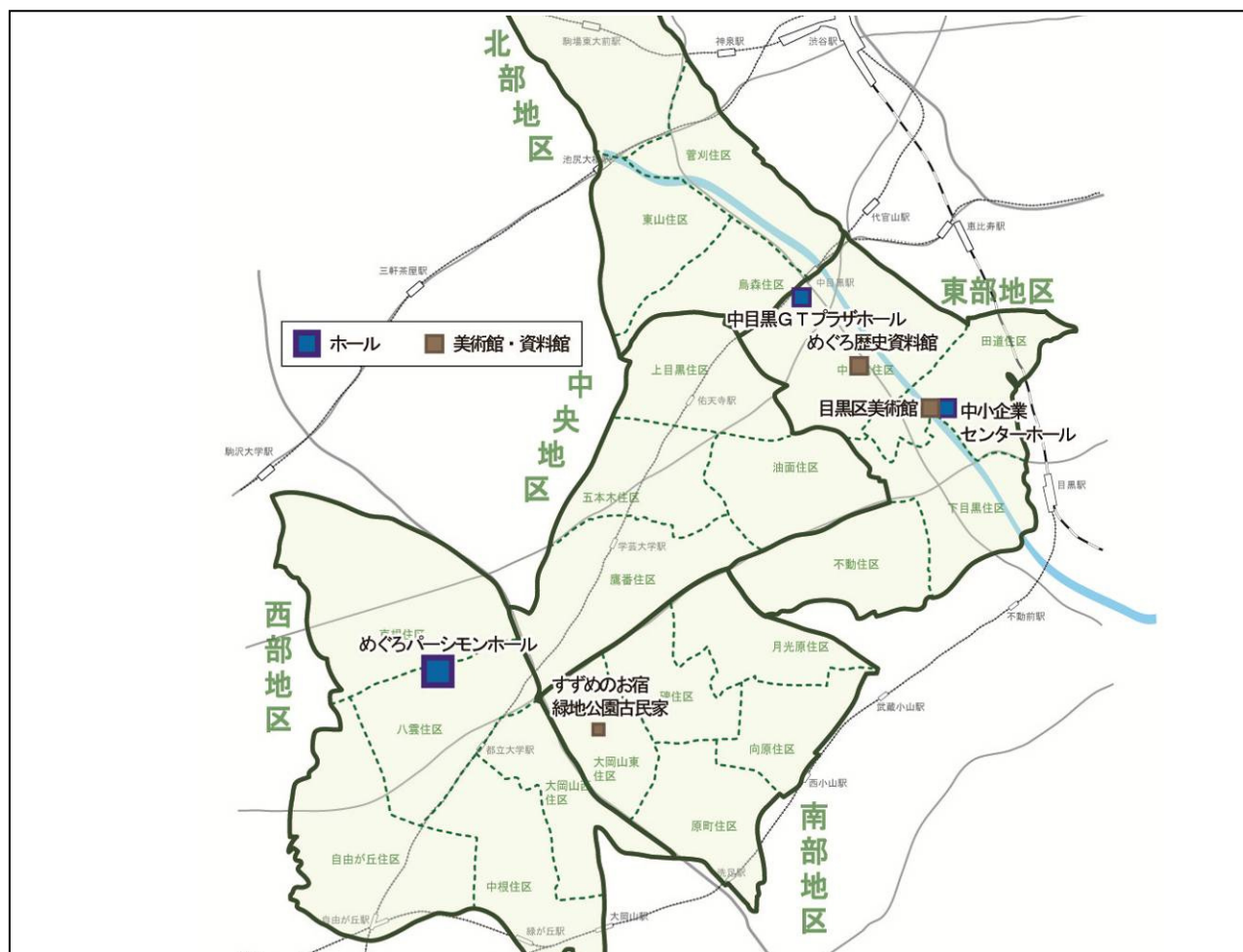
美術館・資料館施設は、目黒区美術館、めぐろ歴史資料館、すすめのお宿緑地公園古民家の3施設です。目黒区美術館は、目黒区民センター内に設置しています。

図表 施設一覧

整理No	名称	住所	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度(年度)	構造	併設施設						備考
						図書館	体育館	福祉施設	児童館	学童保育クラブ	その他	
R001	1 めぐろパーシモンホール	八雲1-1-1	8,621.05	平成13	SRC造	○	○	○			○	めぐろ区民キャンパス内
R002	2 中目黒GTプラザホール	上目黒2-1-3	219.16	平成13	SRC造	○						
R003	3 中小企業センターホール	目黒2-4-36	—	昭和49	SRC造	○	○		○	○	○	目黒区民センター内 面積は中小企業センターに含まれる
R004	4 目黒区美術館	目黒2-4-36	4,059.21	昭和61	RC造	○	○		○	○	○	目黒区民センター内
R005	5 めぐろ歴史資料館	中目黒3-6-10	1,463.52	昭和35	RC造						○	めぐろ学校サポートセンターと併設
R006	6 すずめのお宿緑地公園古民家	碑文谷3-11-22	155.64	昭和58	W造							すすめのお宿緑地公園内
合計			14,518.58	—		4施設	3施設	1施設	2施設	2施設	4施設	

(イ) 配置状況

図表 施設配置



## (ウ) 運営日、運営時間（平成22年度）

名称	運営時間	休館日	年間 運営日数
めぐろパーシモンホール	9:00～22:00	年末年始	358日
中目黒GTプラザホール	9:00～22:00	年末年始	359日
中小企業センターホール	9:00～21:00	月曜・年末年始	307日
目黒区美術館	10:00～18:00	月曜（祝日と重なる場合は翌日）・ 年末年始	307日
めぐろ歴史資料館	9:30～17:00	月曜（祝日と重なる場合は翌日）・ 年末年始	306日
すずめのお宿緑地公園古民家	9:30～16:30	月曜（祝日と重なる場合は翌日）・ 年末年始	307日

※ すずめのお宿緑地公園古民家は、平成24年度から公開時間：9:30～15:30、休館日：月曜・火曜（両日とも祝日の場合は翌日休館）・年末年始に変更になっている。

## (エ) 貸出施設 申込方法

## ■ めぐろパーシモンホール

利用申込：大ホール：12か月前の月の第一水曜日（1月は5日）から利用日の14日前まで、小ホール：6か月前の月の第一水曜日（1月は5日）から利用日の14日前まで  
リハーサル室など：3か月前の月の1日から利用の前まで

## ■ 中目黒GTプラザホール

利用申込：6か月前の月の第一水曜日（1月は5日）から利用の前まで

## ■ 中小企業センターホール

利用申込：抽選申込みは7か月前の月の1日から月末まで  
空き室の予約申込みは6か月前の月の5日から

## ■ 目黒区美術館

区民ギャラリー利用申込：利用月の7・8か月前の月（偶数月）の第2土曜日から利用の前まで  
展覧会観覧料：そのつど定める

## ■ めぐろ歴史資料館

利用申込：団体見学の場合、事前に申込み  
入場料：無料

## ■ すずめのお宿緑地公園古民家

利用申込：団体見学の場合、事前にめぐろ歴史資料館へ申込み  
入場料：無料

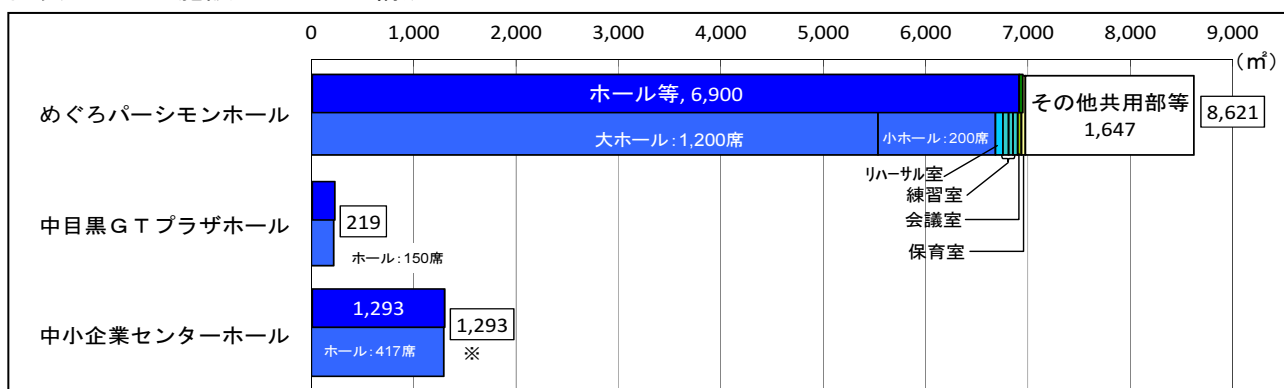
(オ) ホール施設のスペース構成

ホール施設3施設のスペース構成をみると、めぐろパーシモンホールが最も大きく、1, 200席の大ホールを設置しています。他には、小ホール(200席)とリハーサル室や練習室といった付属施設があります。

中目黒GTプラザホールは、平土間形式で定員150席規模のホールのみです。

中小企業センターホールは、417席のホールを設置しています。

図表 ホール施設のスペース構成



※中小企業センター内の専有面積

イ 実態把握

(ア) 建物総合評価

目黒区民センター内にある中小企業センターホールは、築30年以上を経過しており、これまでに大規模改修等の老朽化対策を行っていないため、老朽化も進行しています。今後、老朽化対策が必要です。

めぐろ歴史資料館は、耐震安全性は確保されていますが、築30年以上を経過し、老朽化が進行しています。今後老朽化対策が必要な施設です。

目黒区美術館等2施設は、新耐震基準の建物ですが、今後10年~20年で老朽化が進むことが懸念されます。今後、計画的な老朽化対策の検討が必要な施設です。

中目黒GTプラザホールは、比較的新しい施設です。環境対応については、一部に未了のものがああります。めぐろパーシモンホールは、特に問題はありませぬ。

図表 建物総合評価 (平成24年度)

評価	老朽化	老朽化	今後老朽化	環境対応	問題なし
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性への対応が予定されている</li> <li>老朽化が進行している</li> <li>⇒耐震性、老朽化への対応が予定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化が進行している</li> <li>⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化が進行している</li> <li>⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境対応が未完了</li> <li>⇒今後、環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に問題がない施設</li> </ul>
該当施設	<p>①耐震安全性: 2</p> <p>②老朽化状況: 2</p> <p>③耐震安全性: 1</p> <p>④環境対応状況: 1</p> <p>⑤維持管理: 0</p> <p>振分基準: パターン1以外で②=1の施設</p> <p>該当施設: 中小企業センターホール 建築年度: 昭和49</p> <p>&lt; 1 施設 &gt;</p>	<p>①耐震安全性: 3</p> <p>②老朽化状況: 2</p> <p>③耐震安全性: 2</p> <p>④環境対応状況: 1</p> <p>⑤維持管理: 0</p> <p>振分基準: パターン1以外で②=1の施設</p> <p>該当施設: めぐろ歴史資料館 建築年度: 昭和35</p> <p>&lt; 1 施設 &gt;</p>	<p>①耐震安全性: 3</p> <p>②老朽化状況: 2</p> <p>③耐震安全性: 2</p> <p>④環境対応状況: 1</p> <p>⑤維持管理: 0</p> <p>振分基準: パターン1以外で②=2の施設</p> <p>該当施設: 目黒区美術館 建築年度: 昭和61, 目黒区公園古民家 昭和58</p> <p>&lt; 2 施設 &gt;</p>	<p>①耐震安全性: 3</p> <p>②老朽化状況: 2</p> <p>③耐震安全性: 2</p> <p>④環境対応状況: 1</p> <p>⑤維持管理: 0</p> <p>振分基準: パターン1~3以外で④が1~2の施設</p> <p>該当施設: 中目黒GTプラザホール 建築年度: 平成13</p> <p>&lt; 1 施設 &gt;</p>	<p>①耐震安全性: 3</p> <p>②老朽化状況: 2</p> <p>③耐震安全性: 2</p> <p>④環境対応状況: 1</p> <p>⑤維持管理: 0</p> <p>該当施設: めぐろパーシモンホール 建築年度: 平成13</p> <p>&lt; 1 施設 &gt;</p>
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震安全確保の対策を検討中</li> <li>築30年以上と老朽化が進行しており、大規模改修工事などの対応が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修工事は完了しているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの対応が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的新しい施設ですが、環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に問題のない施設です。</li> </ul>

(イ) 利用状況

■ ホール施設 全体利用件数

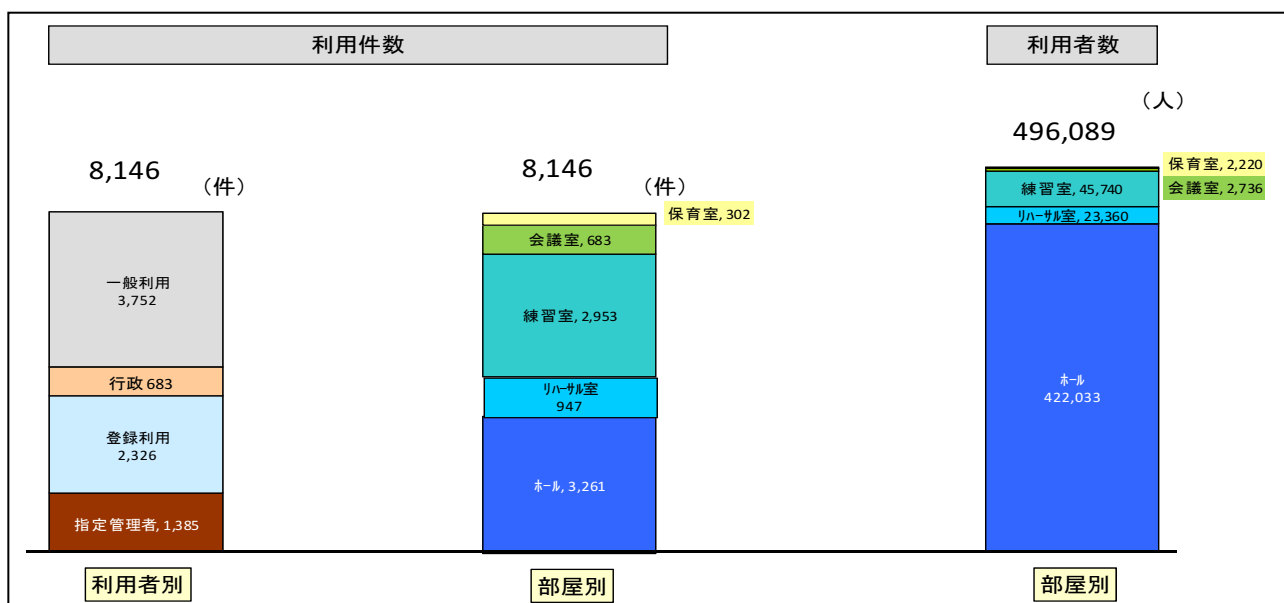
平成22年度のホール施設の全体利用件数は8,146件、利用者数は49万6,089人です。

利用目的別の内訳を見ると、一般利用が3,752件と全体の46.1%を占めています。次いで、登録利用が2,326件(28.6%)、指定管理者利用が1,385件(17.0%)、行政利用が683件(8.4%)になっており、一般利用及び登録利用の施設貸出が全体の74.7%を占めています。

部屋別にみると、ホールが3,261件と全体の40.0%を占めています。次いで練習室が2,953件(36.3%)となっています。利用者数でみると、ホール利用が42万2,033人と全体の85.1%を占めています。

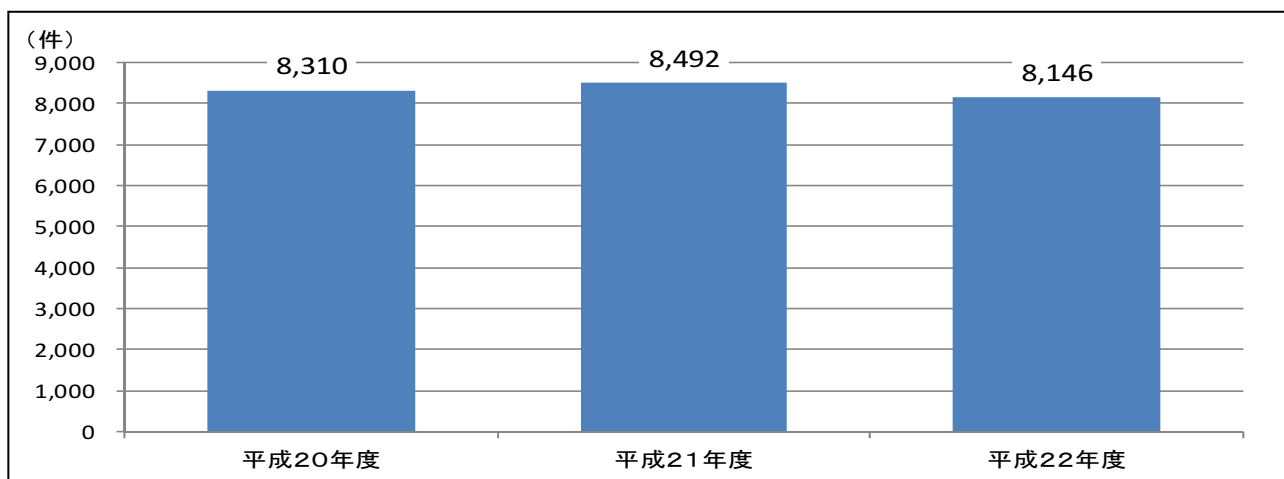
全体の利用件数の推移をみると、平成20年度8,310件から平成22年度8,146件まで2.0%減少しています。平成22年度は、3月11日の震災の影響により、開館出来ない日があったため、減少しています。

図表 全体の利用件数・利用者数（平成22年度）



※利用者別の「登録利用」には、他施設活動団体登録をしている団体の利用を含む。

図表 全体の利用件数の推移

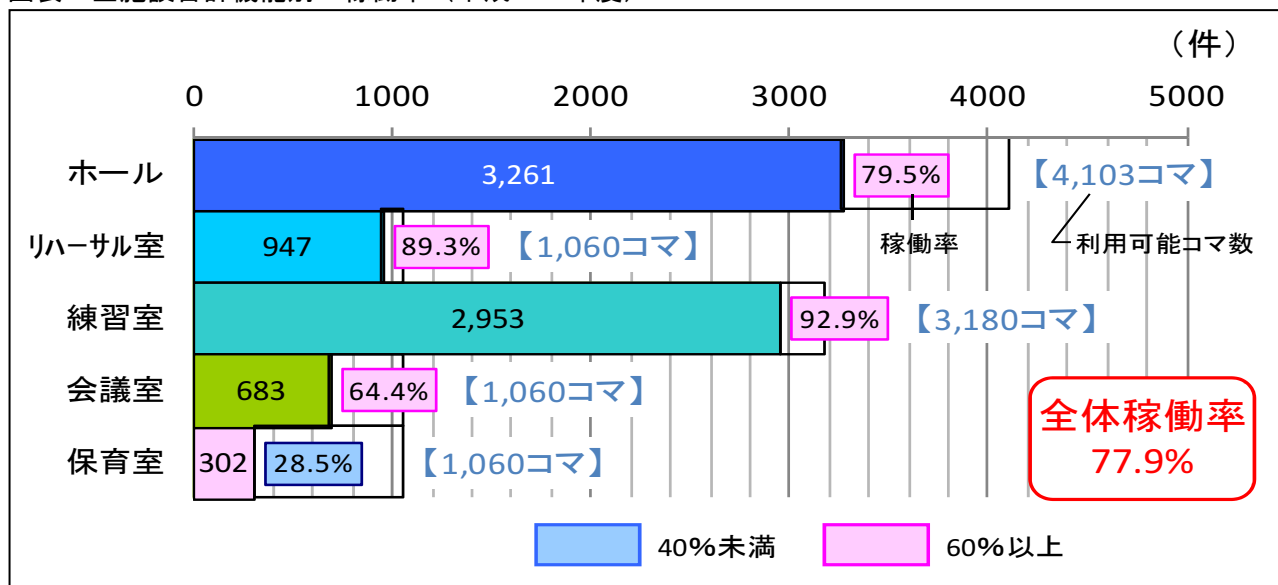


■ ホール施設の稼働率

全3施設の全体稼働率は77.9%と高くなっています。

部屋別の内訳をみると、利用の過半を占めるホール機能は79.5%と高くなっています。他のリハーサル室や練習室、会議室も60%以上となっています。保育室は40%未満と低くなっています。

図表 全施設合計機能別 稼働率 (平成22年度)

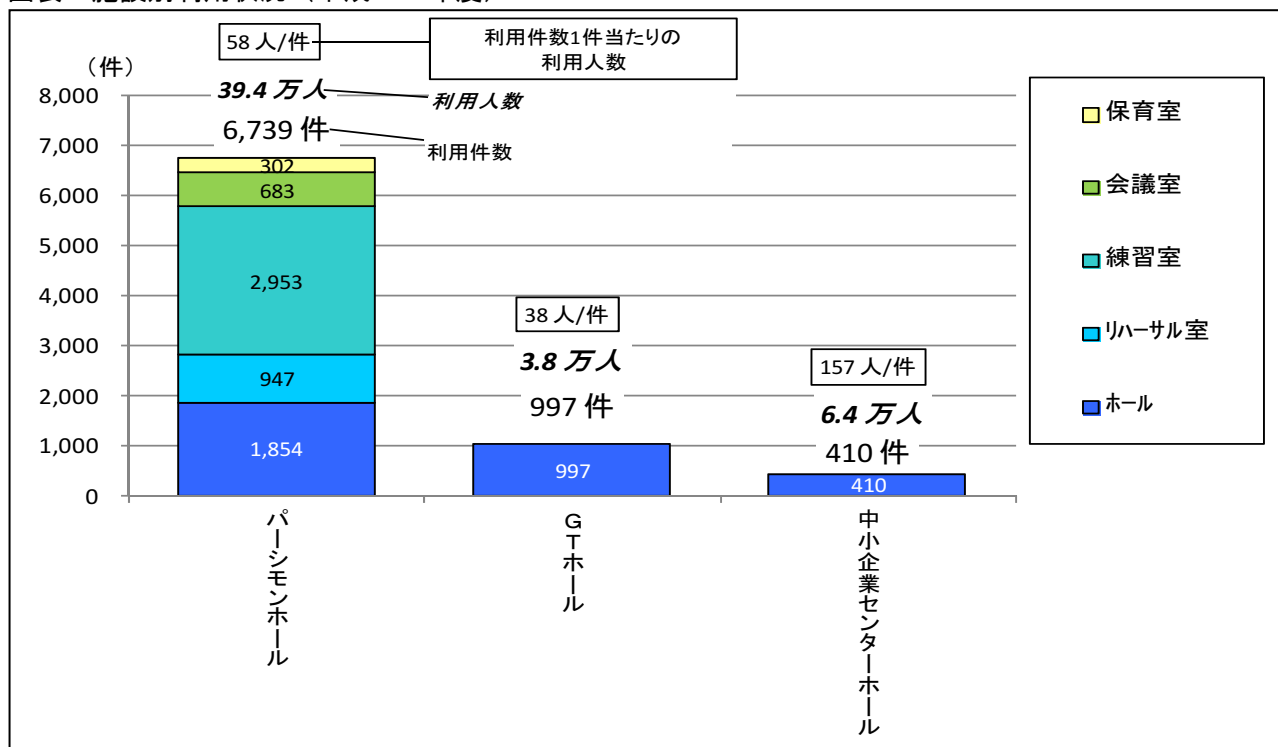


■ ホール施設の施設別利用件数・利用者数

施設別の利用件数をみると、めぐろパーシモンホールが6,739件と最も多くなっています。利用件数では、ホールより練習室の割合が多くなっています。

次いで、GTホールが997件、中小企業センターホールが410件となっています。

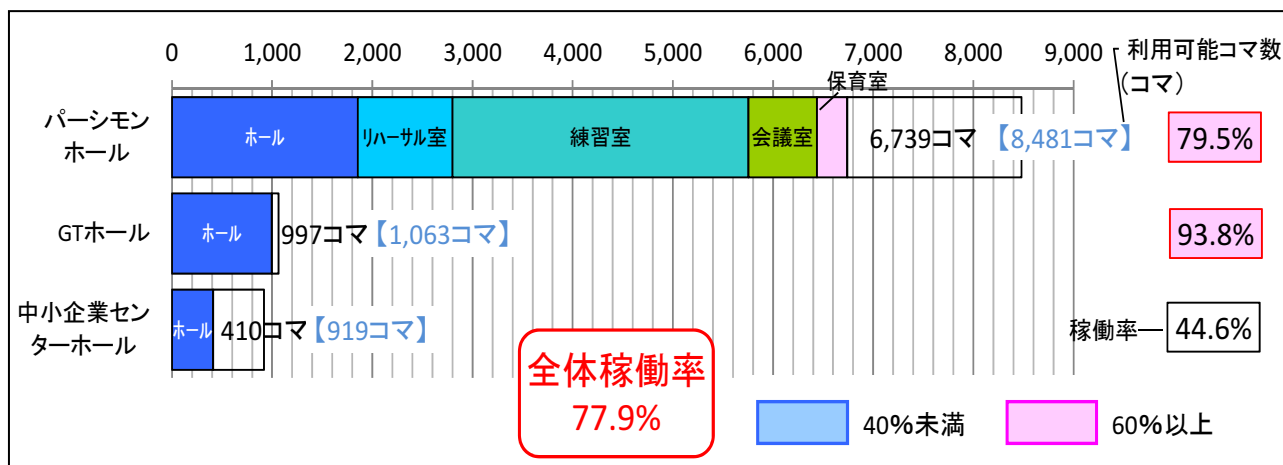
図表 施設別利用状況 (平成22年度)



■ ホール施設別 稼働率

施設別の稼働率をみると、めぐろパーシモンホールは79.5%、中目黒GTプラザホールは93.8%と非常に高い稼働率となっています。中小企業センターホールは44.6%と、他の2施設と比べ、低い稼働率となっています。

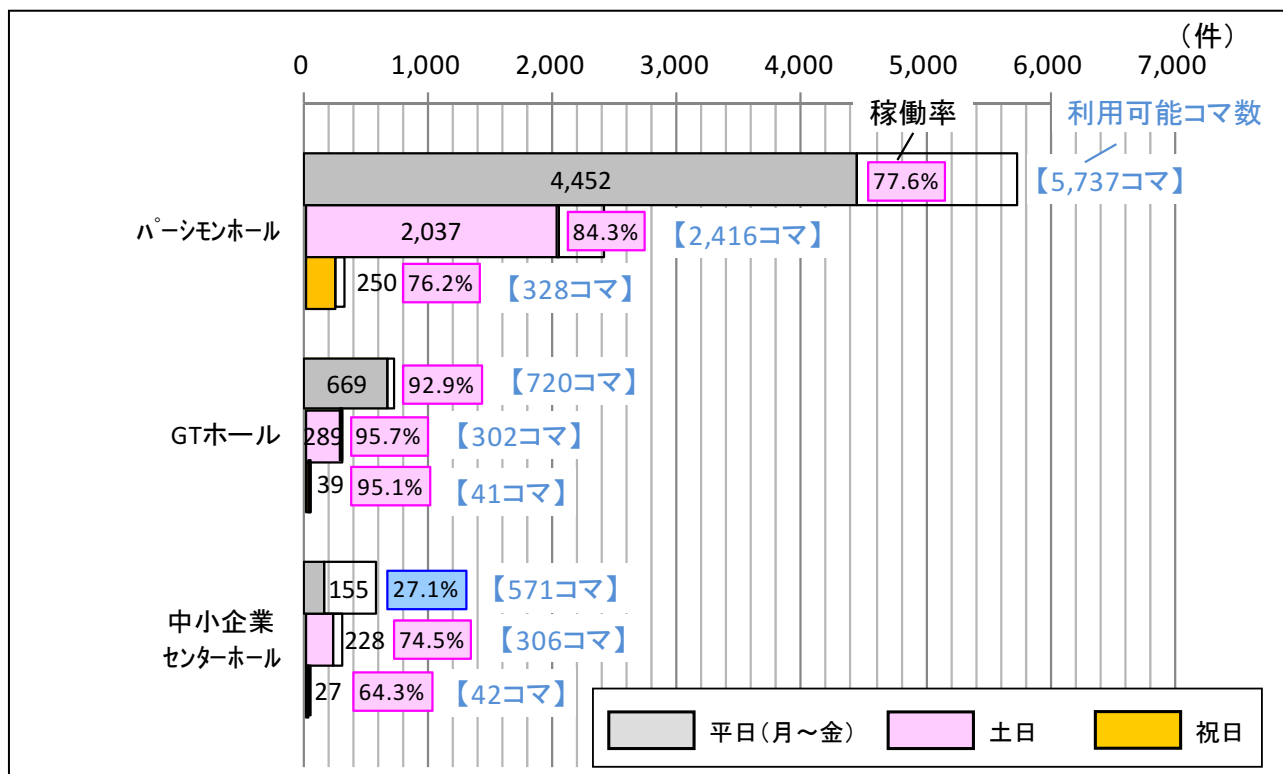
図表 施設別稼働率（平成22年度）



■ ホール施設別 曜日別稼働率

各施設の曜日別稼働率をみると、施設全体の稼働率が高いめぐろパーシモンホールと中目黒GTプラザホールは、全ての曜日で高い稼働率となっています。中小企業センターは、平日の稼働率が27.1%と非常に低い状況ですが、土日は74.5%と他の施設と同様に高い稼働率となっています。

図表 施設別曜日別稼働率（平成22年度）



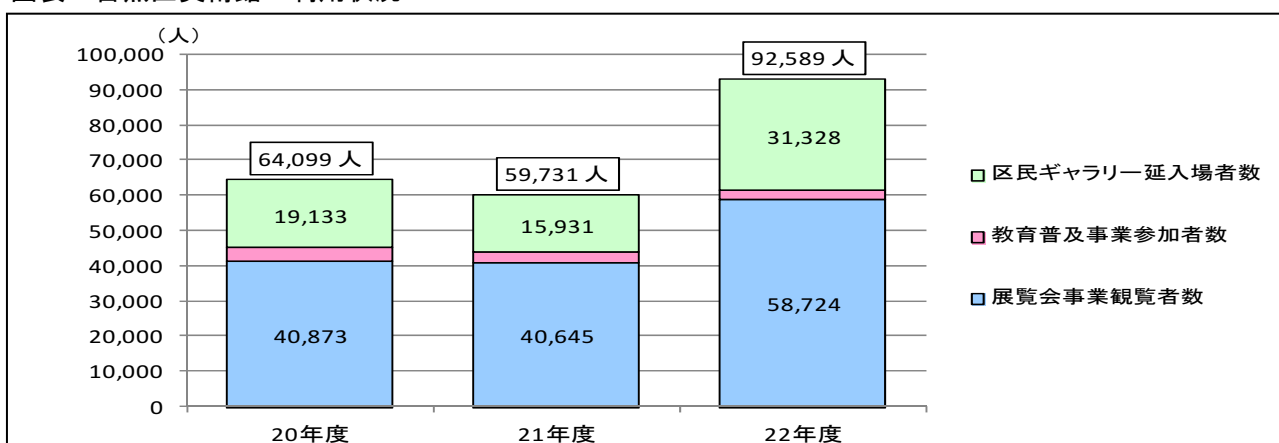
■ 美術館・資料館施設の利用状況

平成22年度の目黒区美術館の利用者数は9万2,589人です。平成20年度からの推移をみると、平成21年度5万9,731人から平成22年度まで1.6倍に増加しています。

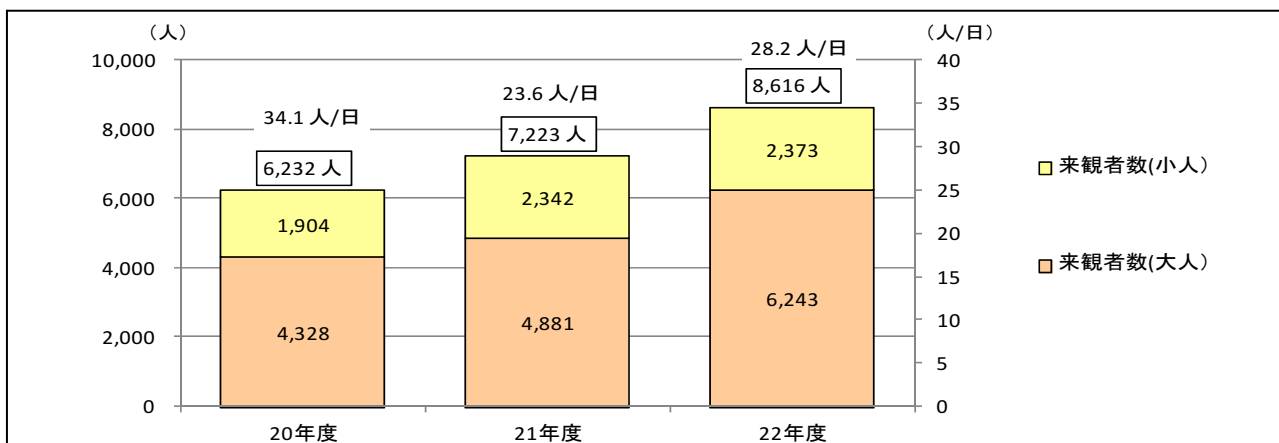
平成22年度のめぐろ歴史資料館の利用者数は8,616人、1日当たり28.2人となっています。平成20年度からの推移をみると、年間来館者数は、年々増加傾向となっています。

平成22年度のすすめのお宿緑地公園古民家の利用者数は1万4,824人、1日当たり48.3人となっています。平成20年度からの推移をみると、減少傾向となっています。

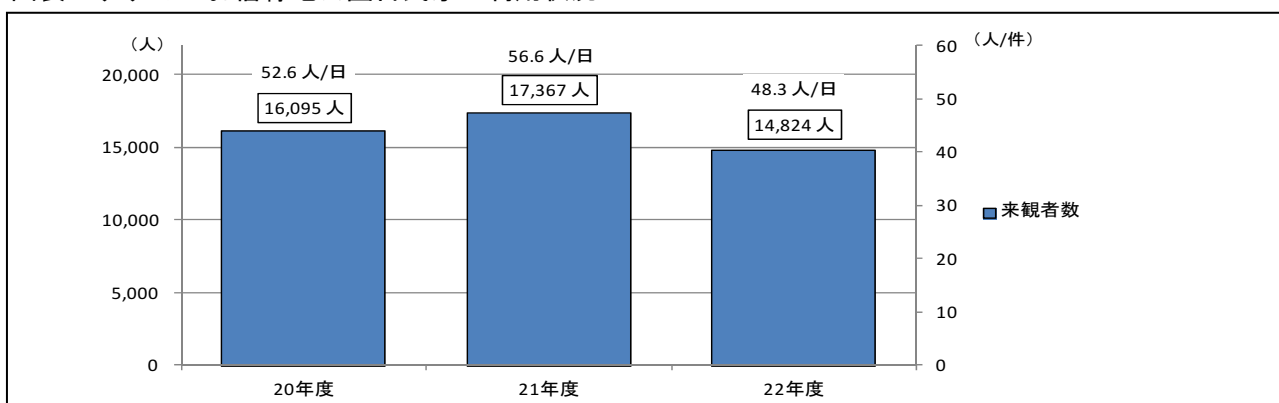
図表 目黒区美術館 利用状況



図表 めぐろ歴史資料館 利用状況 (平成20年9月21日開館)



図表 すずめのお宿緑地公園古民家 利用状況





## (ウ) 運営状況

文化施設のうち、めぐろ歴史資料館及びすすめのお宿緑地公園古民家を除く4施設は、指定管理者が運営しています。

めぐろ歴史資料館は、区の常勤職員2人と非常勤職員5人の計7人が従事しています。すすめのお宿緑地公園古民家は、めぐろ歴史資料館が運営しており、管理は委託しています。

## (エ) コスト状況

平成22年度の文化施設の6施設の年間トータルコストは、8億866万円です。1施設当たりの平均は、ホール施設3施設が1億5,947万円、美術館・資料館施設3施設が1億1,008万円となっています。

内訳をみると、施設にかかるコスト（職員人件費、光熱水費、工事請負費等）が4億2,218万円と全体の52.2%を占めています。事業運営にかかるコスト（業務委託費等）は2億6,186万円（32.4%）、減価償却相当額1億2,462万円となっています。

図表 施設別 行政コスト計算書（平成22年度）

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		めぐろ パーシモン ホール	中目黒 GTプラザ ホール	中小企業 センター ホール	目黒区 美術館	めぐろ 歴史資料館	すすめの お宿緑地 公園古民家	合計
施設に かかる コスト	職員人件費	0	0	1,000	0	16,740,000	0	16,741,000
	その他人件費	0	0	230,000	0	13,385,378	0	13,615,378
	修繕費	0	0	25,000	70,098	0	0	95,098
	工事請負費	2,083,330	42,000	1,094,000	28,344,872	0	208,950	31,773,152
	光熱水費	38,436,570	624,555	9,679,000	24,783,408	1,553,934	213,852	75,291,319
	委託料	131,427,775	3,745,592	24,236,000	63,461,327	6,879,353	5,038,740	234,788,787
	賃借料・共益費	38,006,349	0	9,000	0	362,523	49,840	38,427,712
	その他経費	2,229,150	7,286,838	916,000	580,077	434,080	0	11,446,145
施設にかかるコスト	212,183,174	11,698,985	36,190,000	117,239,782	39,355,268	5,511,382	422,178,591	
事業 運営 に かかる コスト	業務委託料	0	0	0	0	0	40,635	40,635
	その他経費	110,709,616	4,134,384	0	145,232,000	1,635,701	105,968	261,817,669
	事業運営にかかるコスト	110,709,616	4,134,384	0	145,232,000	1,635,701	146,603	261,858,304
現金収支を伴うコスト 計		322,892,790	15,833,369	36,190,000	262,471,782	40,990,969	5,657,985	684,036,895

## 【収入の部】

収入	利用料収入等	0	0	0	0	0	0	0
	国補助金等	0	0	0	0	0	0	0
	都補助金等	0	0	0	0	0	0	0
	その他収入	0	1,899,536	0	0	254,430	0	2,153,966
収入の合計		0	1,899,536	0	0	254,430	0	2,153,966

## II. 現金収支を伴わないもの

コスト	減価償却相当額	99,231,798	4,260,646	※	20,342,440	773,610	16,490	124,624,984
-----	---------	------------	-----------	---	------------	---------	--------	-------------

## III. 総括

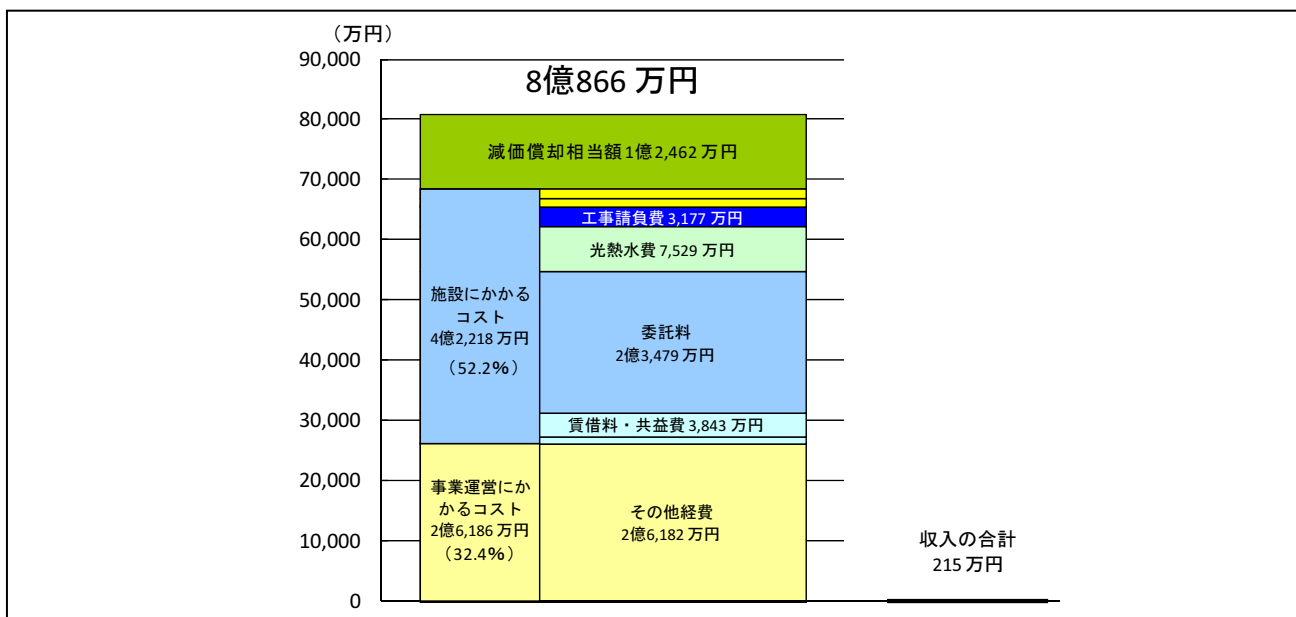
コストの部合計（トータルコスト）		422,124,588	20,094,015	36,190,000	282,814,222	41,764,579	5,674,475	808,661,879
収支差額（ネットコスト）		422,124,588	18,194,479	36,190,000	282,814,222	41,510,149	5,674,475	806,507,913

※ 中小企業センターホールの減価償却相当額は、中小企業センターに含まれる。

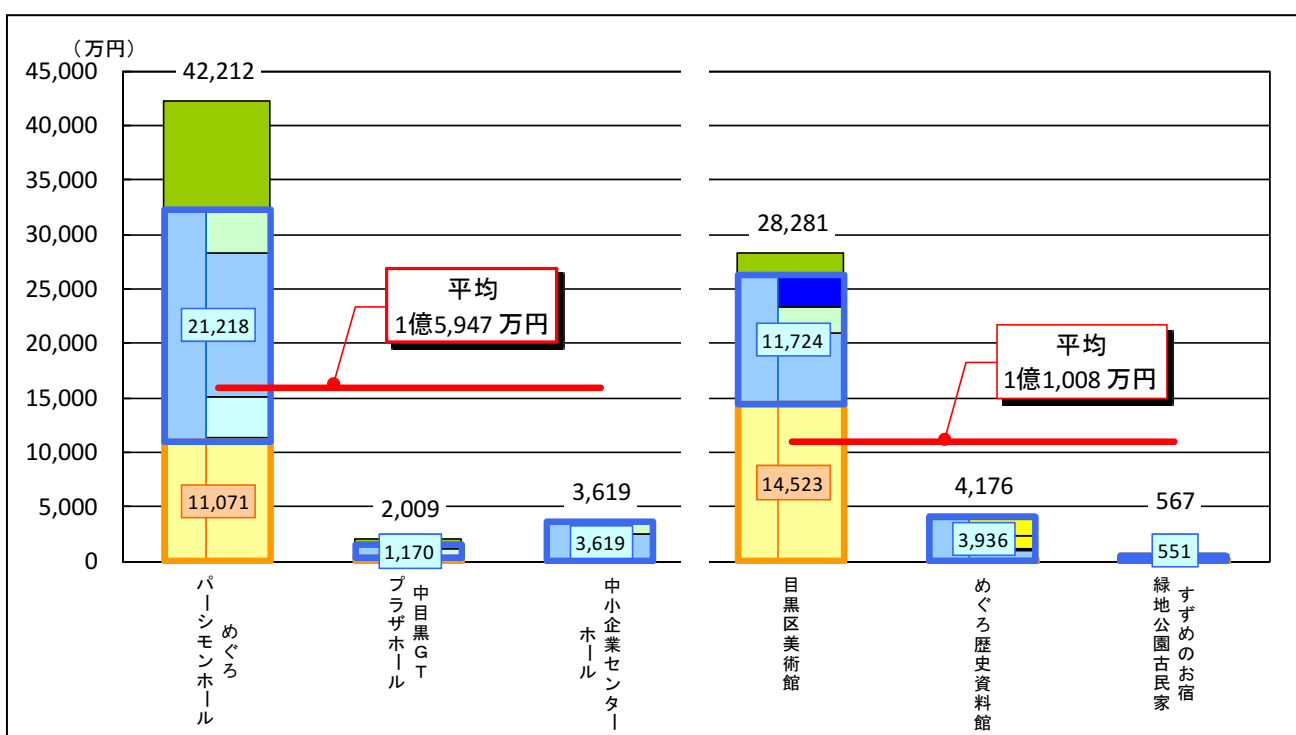
施設にかかるコスト4億2,218万円のうち、2億3,479万円（施設にかかるコストの55.6%）が清掃・警備等の建物管理委託業者への委託料となっています。その他に、光熱水費が7,529万円、賃借料・共益費が3,843万円、工事請負費3,177万円等がかかっています。

施設別のトータルコストをみると、めぐろパーシモンホールが4億2,212万円となっています。次いで目黒区美術館が2億8,281万円、めぐろ歴史資料館が4,176万円、中小企業センターホールが3,619万円、中目黒GTプラザホールが2,009万円、すすめのお宿緑地公園古民家が567万円となっています。

図表 全体 トータルコスト（平成22年度）



図表 施設別トータルコスト（平成22年度）



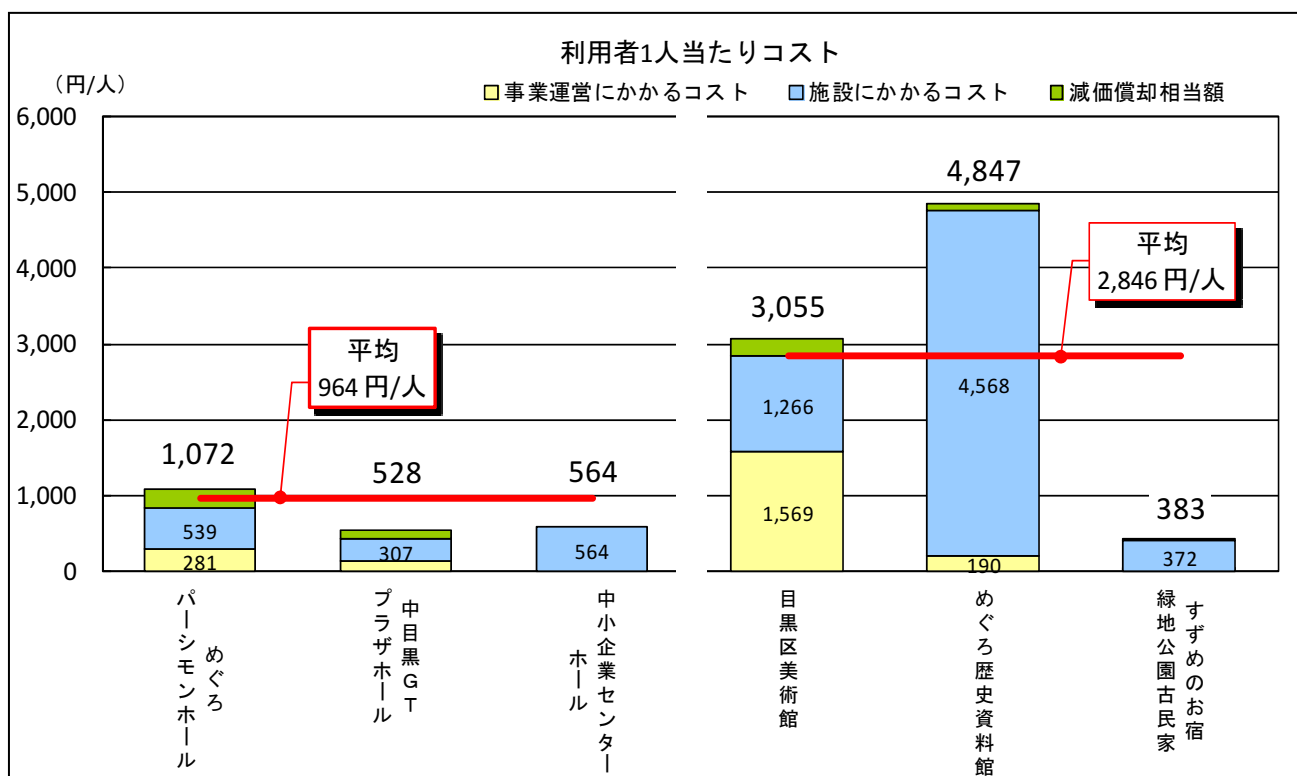
ウ 分析・評価

(ア) 利用者1人当たりにかかるコスト

ホール施設利用者1人当たりにかかるコストは、平均964円/人です。施設別にみると、中目黒GTプラザホール528円/人からめぐろパーシモンホール1,072円/人まであります。

美術館・資料館施設利用者1人当たりにかかるコストは、平均2,846円/人です。施設別にみると、すすめのお宿緑地公園古民家383円/人から利用者数が少ないめぐろ歴史資料館4,847円/人まであります。

図表 利用者1人当たりコスト(平成22年度)



## ○ 社会教育館・青少年プラザ

## ア 施設概要

## (ア) 施設一覧

区民等の社会教育活動の場として、社会教育館4施設、緑が丘文化会館、青少年プラザの計6施設を設置しています。

各施設では、設置目的に合った各種講座、研修会等の主催事業を開催するとともに、社会教育活動諸団体の交流の場、活動の場として、施設の貸出しを行っています。

図表 設置目的

名称	設置目的
社会教育館	地域の生活に即した社会教育活動を通して、区民の教養及び情操を高め、生活文化の向上に資するため
緑が丘文化会館	区民の教養及び情操を高める機会及び場所を提供することにより、地域社会における社会教育の振興及び生活文化の向上を図り、コミュニティの形成に寄与するため
青少年プラザ	青少年の自主的な社会教育活動を通して、青少年の健全な育成を図るため

図表 事業内容

名称	事業内容
社会教育館	各種講座・研修会等の実施 社会教育活動を行う団体に対する助言・指導及び援助 施設の貸出・提供
緑が丘文化会館	各種講座・研修会等の実施 社会教育活動を行うものに対する助言・指導及び援助 コミュニティの形成に資する活動の支援 施設の貸出・提供
青少年プラザ	青少年のための講座及び講習会等の実施 青少年及び青少年団体が相互に交流する場の提供 青少年団体の育成 施設の貸出・提供

(7) 文化・スポーツ施設 ○ 社会教育館・青少年プラザ

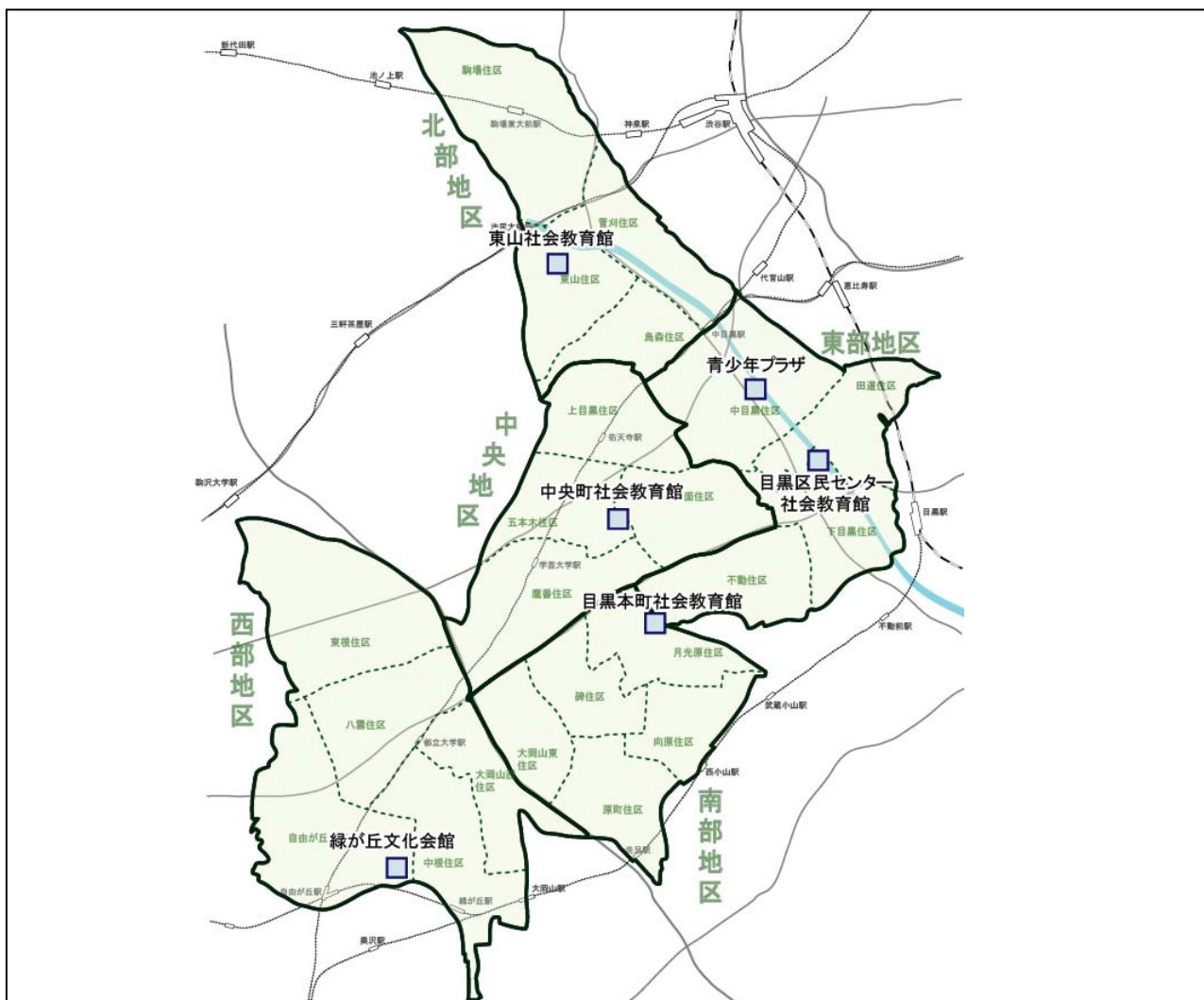
全6施設1万1,189㎡整備しています。社会教育会館は、約1,000㎡から約2,500㎡までの規模で整備しています。緑が丘文化会館は3,404㎡、青少年プラザは1,581㎡となっています。図書館や幼稚園、児童館等の他の公共施設と複合化している施設がほとんどです。

図表 施設一覧

整理No	名称	住所	延床面積(㎡)	建築年度(年度)	構造	併設施設					備考
						幼稚園	児童館	学童保育クラブ	行政サロビ	その他	
S001	1 東山社会教育館	東山3-24-2	1,575.00	昭和34	RC造	○	○	○		○	東山地区センター内 住区センターレクホール
S002	2 目黒区民センター社会教育館	目黒2-4-36	1,065.68	昭和49	SRC造		○	○		○	目黒区民センター内
S003	3 中央町社会教育館	中央町2-4-18 中央町さくらプラザ地下1階	1,193.79	平成17	SRC造					○	中央町さくらプラザ内 住区会議室
S004	4 目黒本町社会教育館	目黒本町2-1-20	2,368.62	昭和56	RC造			○		○	南部地区センター内
S005	5 緑が丘文化会館	緑が丘2-14-23	3,404.44	昭和49	RC造	○	○	○	○	○	緑が丘コミュニティセンター内
S006	6 青少年プラザ	中目黒2-10-13	1,581.38	平成3	SRC造		○	○		○	中目黒スクエア内
合計			11,188.91	—		2施設	4施設	5施設	1施設	6施設	

(イ) 配置状況

図表 施設配置



## (ウ) 運営日、運営時間

名称	運営時間	休館日	年間 運営日数
東山社会教育館	9:00~21:00	月曜・年末年始	306日
目黒区民センター 社会教育館		月曜（祝日と重なるときは 翌日）・年末年始	306日
中央町社会教育館		月曜・年末年始	306日
目黒本町社会教育館			306日
緑が丘文化会館			306日
青少年プラザ	9:00~21:45 祝日は9:00~17:00	月曜・毎月第二木曜日・ 年末年始	294日

## (エ) 貸出施設 申込方法

## ■ 社会教育館

利用申込：利用月の2か月前の月の1日から利用当日まで

抽選申込：社会教育関係登録団体は利用月の4か月前の月の1日から月末まで

優先申込：社会教育関係登録団体は利用月の3か月前の月の5日から月末まで

使用料：利用する部屋の広さや時間帯、団体登録の有無により異なります。

## ■ 緑が丘文化会館

利用申込：利用月の3か月前の月の5日から利用当日まで

抽選申込：利用月の4か月前の月の1日から月末まで

使用料：利用する部屋の広さや時間帯、団体登録の有無により異なります。

## ■ 青少年プラザ

利用申込：利用月の1か月前の月の1日から利用当日まで

抽選申込：社会教育関係登録団体（青少年）は利用月の3か月前の月の1日から月末まで

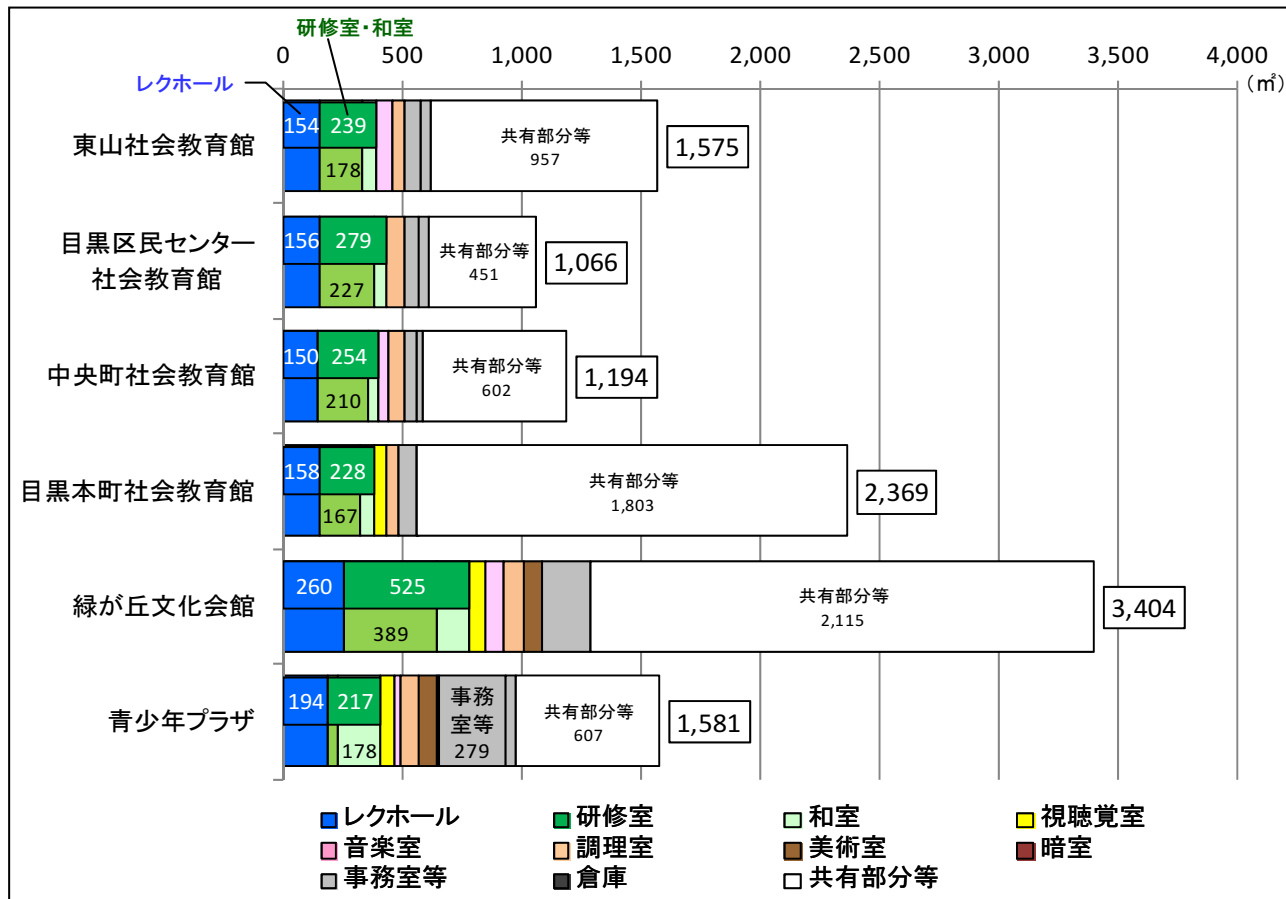
優先申込：社会教育関係登録団体（青少年）は利用月の2か月前の月の5日から月末まで

使用料：利用する部屋の広さや時間帯、団体登録の有無により異なります。

(オ) スペース構成

スペース構成をみると、全ての施設がホールと、研修室・会議室を整備しています。社会教育館4施設はほぼ同一の整備内容となっています。

図表 スペース構成



イ 実態把握

(ア) 建物総合評価

目黒区民センター内にある目黒区民センター社会教育館は、築30年以上を経過しており、老朽化が進行しているため、今後、老朽化対策が必要です。

東山社会教育館等3施設は、耐震安全性は確保されていますが、築30年以上を経過し、老朽化が進行しているため、今後老朽化対策が必要な施設です。

青少年プラザは、新耐震基準の建物ですが、今後10年～20年で老朽化が進むことが懸念されます。今後、計画的な老朽化対策の検討が必要な施設です。

中央町社会教育館は、比較的新しい施設です。環境対応については、一部に未了のものがあります。

図表 建物総合評価（平成24年度）

評価	老朽化	老朽化	今後 老朽化	環境対応
	<p>・耐震性への対応が予定されている ・老朽化が進行している ⇒耐震性、老朽化への対応が予定されている</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・環境対応が未完了 ⇒今後、環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度 目黒区民センター社会教育館 昭和49</p> <p>&lt; 1 施設 &gt;</p>	<p>該当施設 建築年度 東山社会教育館 昭和34 目黒本町社会教育館 昭和56 緑が丘文化会館 昭和49</p> <p>&lt; 3 施設 &gt;</p>	<p>該当施設 建築年度 青少年プラザ 平成3</p> <p>&lt; 1 施設 &gt;</p>	<p>該当施設 建築年度 中央町社会教育館 平成17</p> <p>&lt; 1 施設 &gt;</p>
コメント	<p>・耐震安全確保の対策を検討中 ・築30年以上と老朽化が進行しており、大規模改修工事などの対応が必要です。</p>	<p>・耐震改修工事は完了しているものの、築30年以上と老朽化が進行しており、大規模改修工事などの対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>



(イ) 利用状況

■ 全体利用件数・利用者数

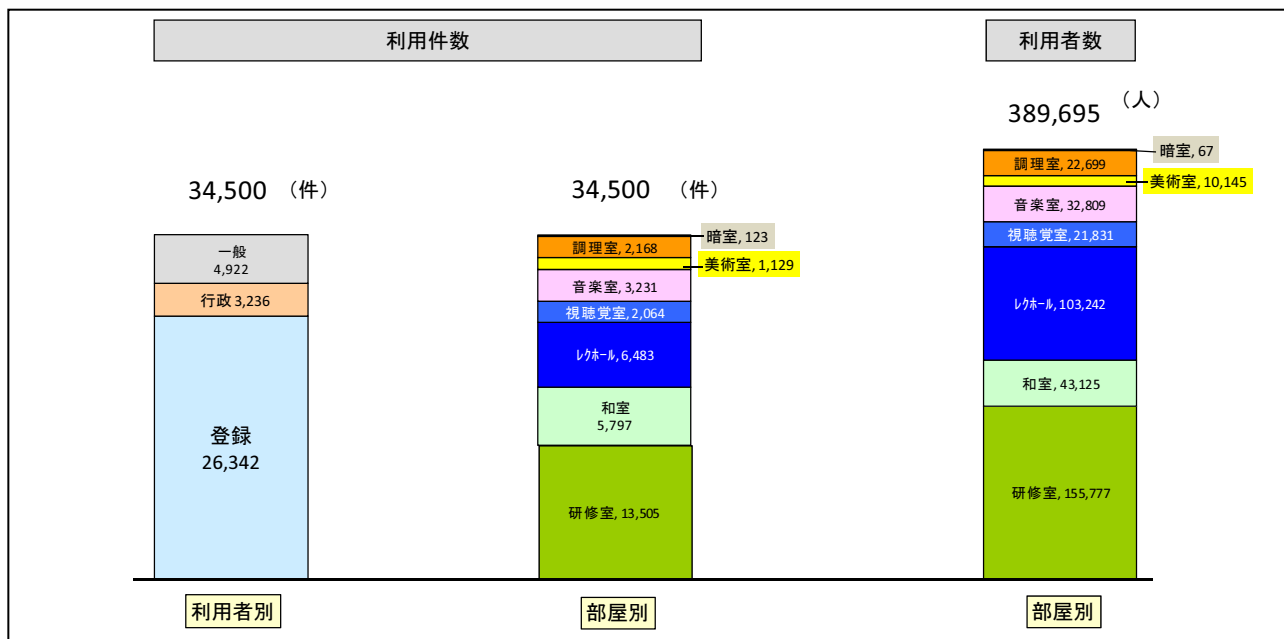
全6施設の平成22年度の利用状況は、利用件数3万4,500件、利用者数38万9,695人です。

利用目的別の内訳を見ると、登録団体の利用が2万6,342件と全体の76.4%を占めています。次いで、一般利用が4,922件(14.3%)、行政利用が3,236件(9.4%)となっています。

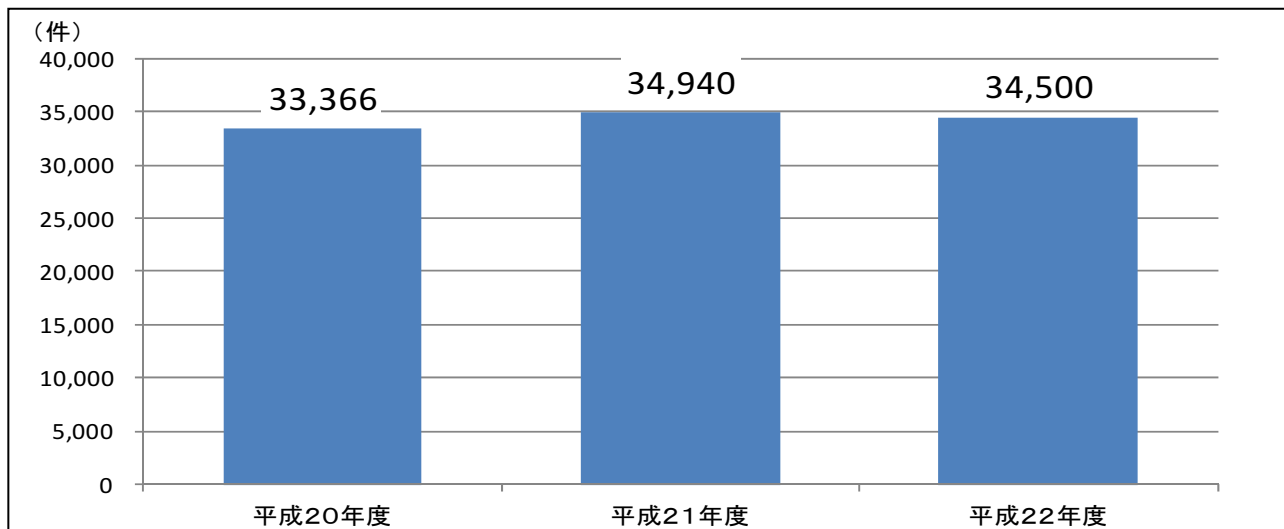
部屋別にみると、研修室が1万3,505件(39.1%)、レクホールは6,483件(18.8%)、和室が5,797件(16.8%)となっており、全体の74.7%を占めています。

全体の利用件数の推移をみると、平成20年度3万3,366件から平成22年度3万4,500件まで、ほぼ横ばいで推移しています。

図表 全体の利用件数・利用者数（平成22年度）



図表 全体の利用件数の推移

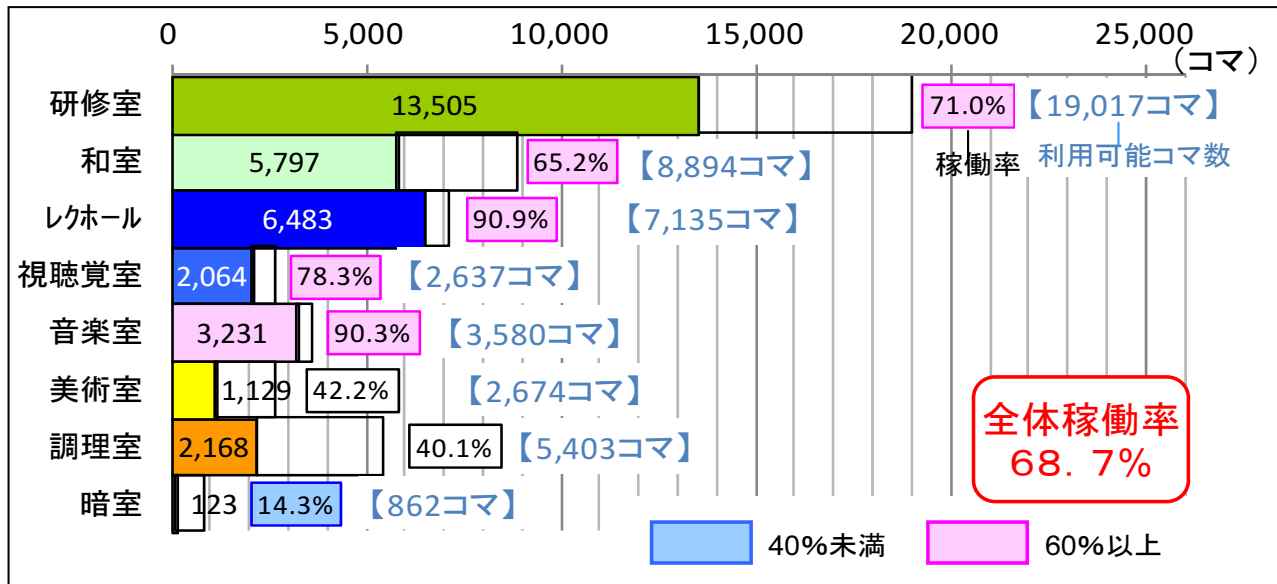


■ 全施設稼働率

全6施設の全体稼働率は68.7%と高くなっています。

部屋別の内訳をみると、利用件数の割合が高い研修室は71.0%と高くなっています。また和室(65.2%)やレクホール(90.9%)も高い稼働率となっています。美術室や調理室、暗室といった利用目的が固定される部屋は比較的低くなっています。

図表 全施設合計機能別 稼働率(平成22年度)

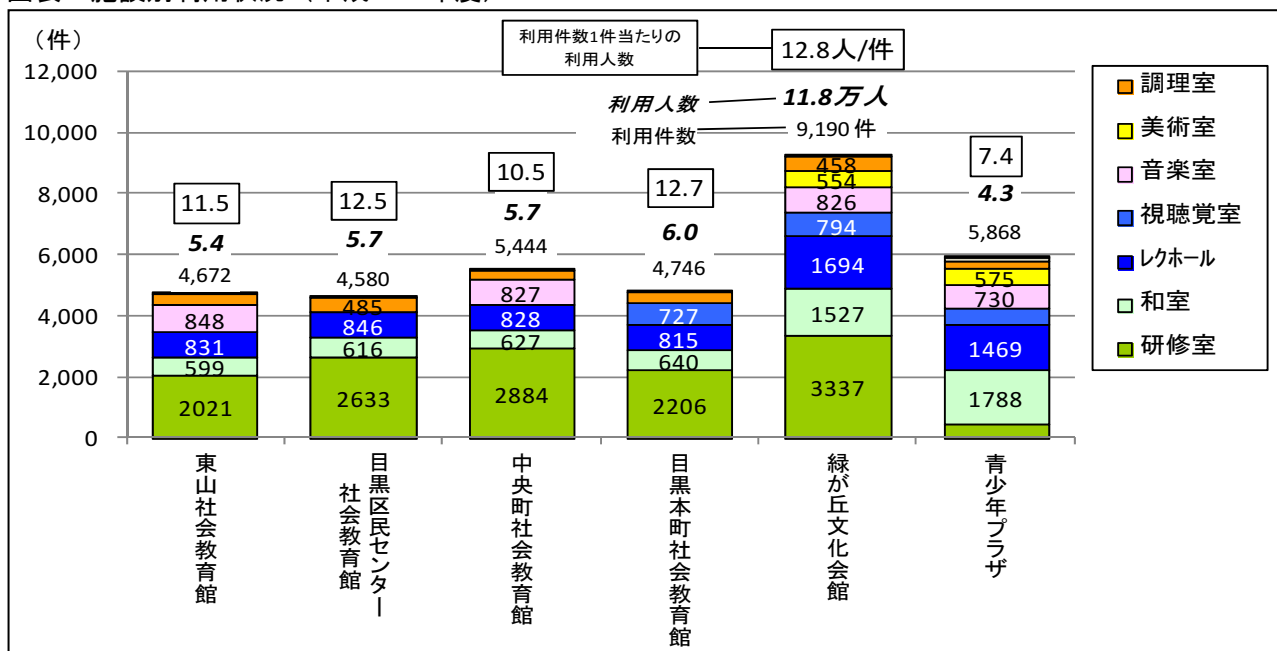


■ ホール施設の施設別利用件数・利用者数

施設別の利用件数をみると、緑が丘文化会館が9,190件と最も多くなっています。他の施設は目黒区民センター社会教育館4,580件から青少年プラザ5,868件までと同程度となっています。

部屋別の利用割合をみると、東山社会教育館から緑が丘文化会館までの5施設は研修室を中心とした利用となっています。青少年プラザは、和室及びレクホールを中心とした利用です。

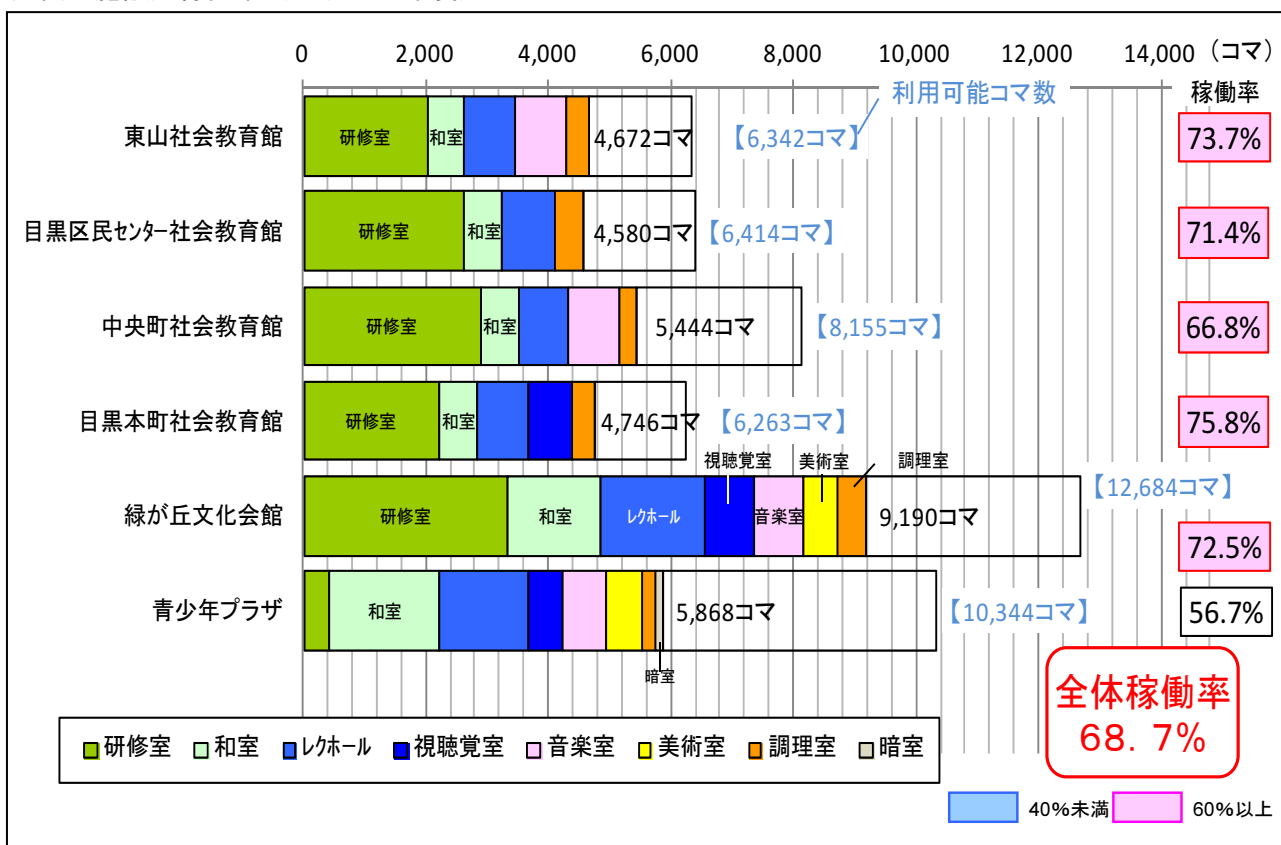
図表 施設別利用状況(平成22年度)



■ 施設別 稼働率

施設別の稼働率をみると、東山社会教育館から緑が丘文化会館は、稼働率60%以上と高くなっています。和室、レクホールが利用の中心となっている青少年プラザは56.7%です。

図表 施設別稼働率（平成22年度）

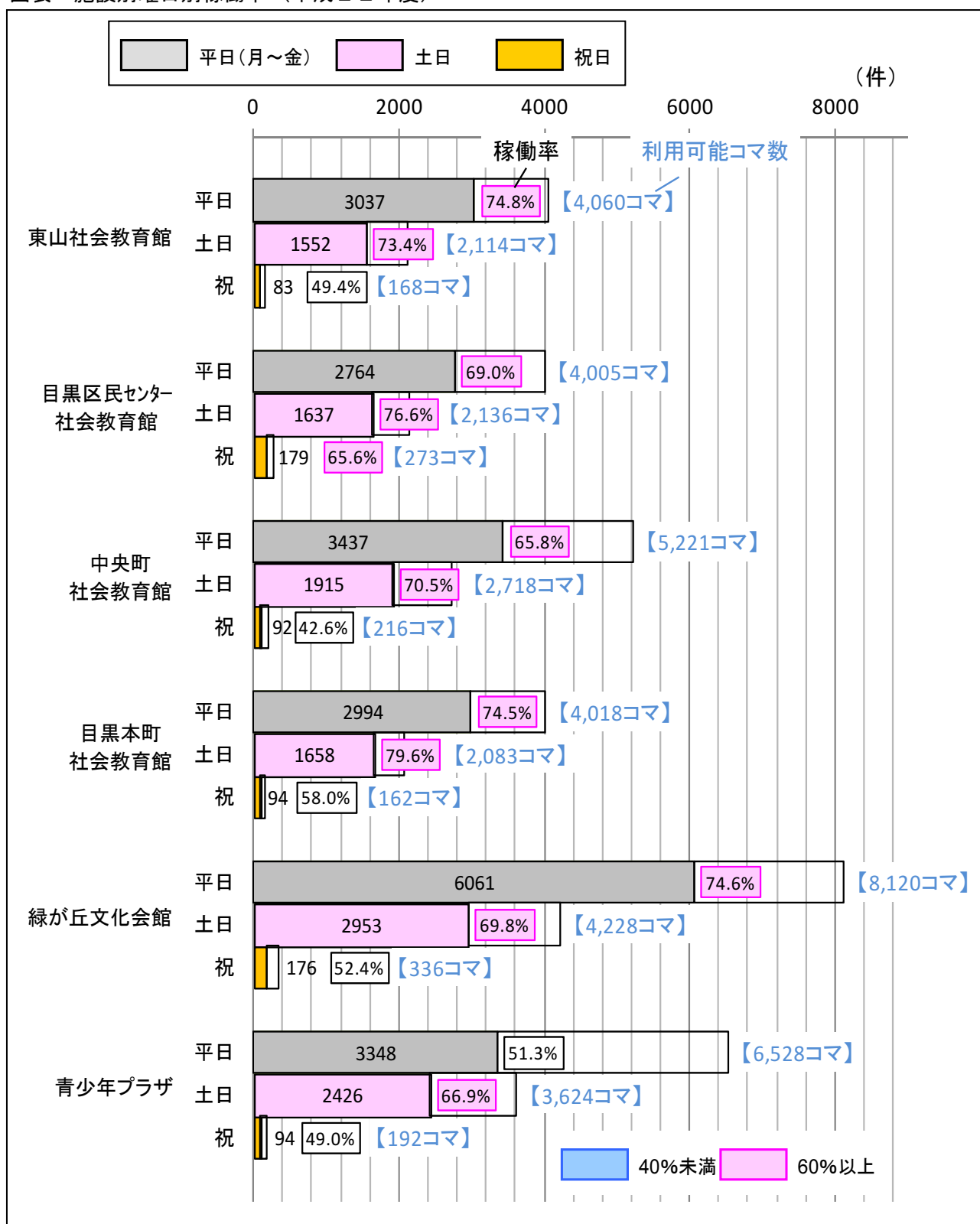


■ 施設別 曜日別稼働率

各施設の曜日別稼働率をみると、施設全体の稼働率が高い5施設は、平日・土日ともに高くなっています。

青少年プラザは土日が66.9%と高くなっていますが、平日は51.3%となっています。

図表 施設別曜日別稼働率（平成22年度）



## (ウ) 運営状況

社会教育館・緑が丘文化会館・青少年プラザ6施設は区の直営で運営しています。  
社会教育館4施設は、各施設で常勤職員3人と非常勤職員3人の計6人が従事しています。

緑が丘文化会館は、常勤職員5人と非常勤職員6人の計11人が従事しています。

青少年プラザは、常勤職員4人と非常勤職員7人の計11人が従事しています。

図表 運営人員（平成22年度）

	常勤職員	非常勤職員	合計
東山社会教育館	3人	3人	6人
目黒区民センター社会教育館	3人	3人	6人
中央町社会教育館	3人	3人	6人
目黒本町社会教育館	3人	3人	6人
緑が丘文化会館	5人	6人	11人
青少年プラザ	4人	7人	11人
合計	21人	25人	46人

## (エ) コスト状況

平成22年度の社会教育館・緑が丘文化会館・青少年プラザの6施設の年間トータルコストは、6億1,382万円です。1施設当たり平均1億230万円となっています。

内訳をみると、施設にかかるコスト（職員人件費、光熱水費、工事請負費等）が5億4,024万円と全体の88.0%を占めています。事業運営にかかるコスト（業務委託費等）は3,717万円（6.1%）、減価償却相当額3,641万円となっています。

図表 施設別 行政コスト計算書（平成22年度）

（円）

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		東山 社会教育館	目黒区民 センター 社会教育館	中央町 社会教育館	目黒本町 社会教育館	緑が丘 文化会館	青少年プラザ	合計
施設 にか か る コ ス ト	職員人件費	25,110,000	25,110,000	25,110,000	25,110,000	41,850,000	33,480,000	175,770,000
	その他人件費	8,809,111	8,809,111	8,809,111	8,809,111	17,618,222	20,554,592	73,409,258
	修繕費	81,900	112,182	89,250	93,870	207,690	289,275	874,167
	工事請負費	30,068,713	0	259,350	40,577,407	39,506,355	362,250	110,774,075
	光熱水費	4,279,279	7,887,000	3,530,870	8,337,893	12,166,488	4,705,968	40,907,498
	委託料	14,445,814	16,710,400	16,970,817	23,772,028	32,889,752	27,859,306	132,648,117
	賃借料・共益費	285,674	195,086	3,182,801	300,930	665,346	622,079	5,251,916
	その他経費	0	160,020	0	38,430	44,100	360,192	602,742
	施設にかかるコスト	83,080,491	58,983,799	57,952,199	107,039,669	144,947,953	88,233,662	540,237,773
事業 運 営 に か か る コ ス ト	業務委託料	0	0	0	0	5,034,319	1,239,303	6,273,622
	その他経費	1,981,535	1,810,919	2,643,604	3,200,316	8,879,550	12,376,326	30,892,250
	事業運営にかかるコスト	1,981,535	1,810,919	2,643,604	3,200,316	13,913,869	13,615,629	37,165,872
現金収支を伴うコスト 計		85,062,026	60,794,718	60,595,803	110,239,985	158,861,822	101,849,291	577,403,645
【収入の部】								
収入	利用料収入等	4,574,365	4,533,370	4,707,680	4,430,675	14,413,763	5,539,250	38,199,103
	国補助金等	0	0	0	0	0	0	0
	都補助金等	44,000	0	0	0	52,000	0	96,000
	その他収入	256,003	96,216	323,785	3,173,987	314,286	497,223	4,661,500
収入の合計		4,874,368	4,629,586	5,031,465	7,604,662	14,780,049	6,036,473	42,956,603
II. 現金収支を伴わないもの								
コスト	減価償却相当額	834,596	1,670,539	4,979,863	6,676,903	13,072,068	9,178,522	36,412,491
III. 総括								
コストの部合計(トータルコスト)		85,896,622	62,465,257	65,575,666	116,916,888	171,933,890	111,027,813	613,816,136
収支差額(ネットコスト)		81,022,254	57,835,671	60,544,201	109,312,226	157,153,841	104,991,340	570,859,533

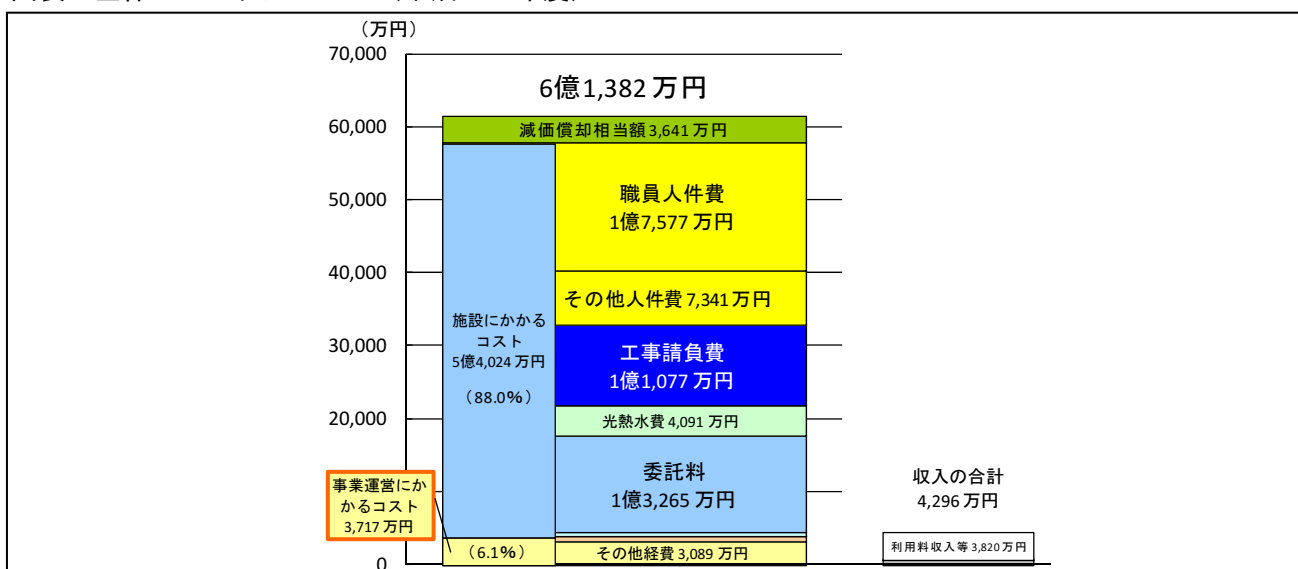
(7) 文化・スポーツ施設 ○ 社会教育館・青少年プラザ

施設にかかるコスト5億4,024万円のうち、1億7,577万円（施設にかかるコストの32.5%）が区職員人件費、7,341万円（施設にかかるコストの13.6%）がその他人件費となっており、人件費が合計2億4,918万円と、トータルコストの40.6%を占めています。他に、清掃・警備等の建物管理委託業者への委託料が1億3,265万円、工事請負費が1億1,077万円となっています。

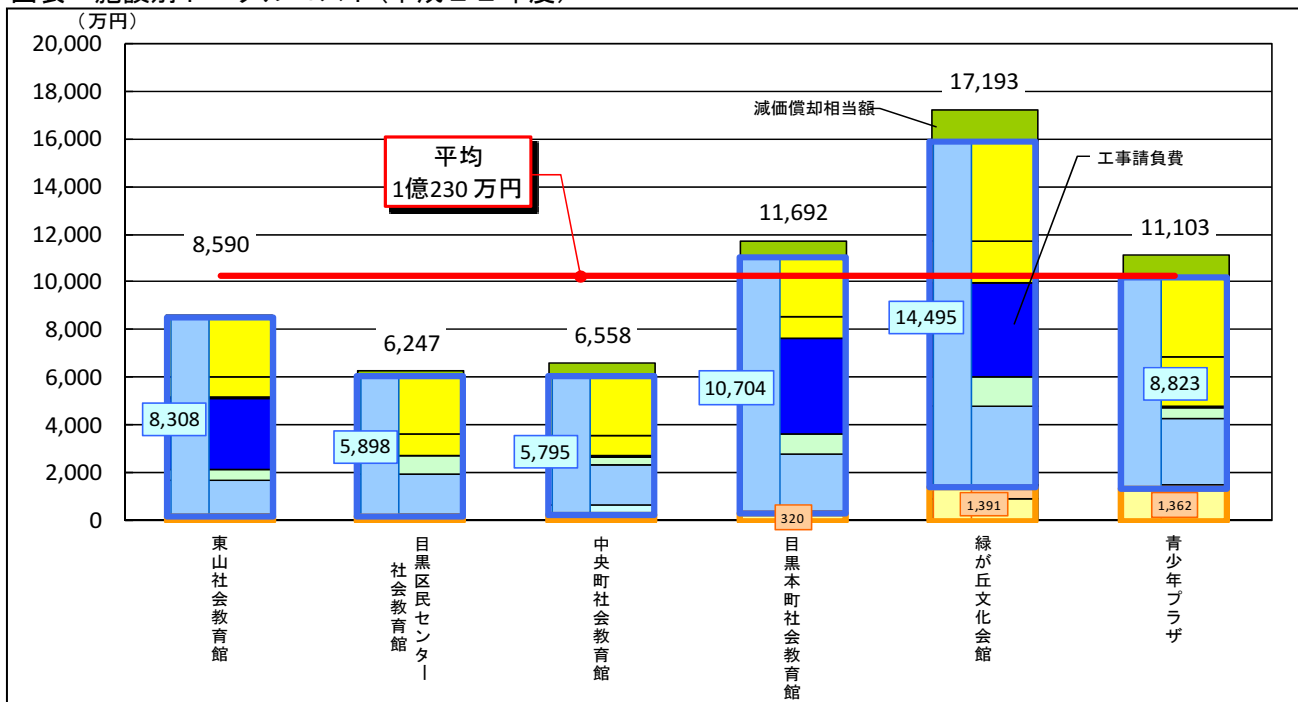
施設別のトータルコストをみると、目黒区民センター社会教育館6,247万円から緑が丘文化会館1億7,193万円となっています。

社会教育館のうち、東山社会教育館は改修工事を行っているため、他の社会教育館より高くなっています。目黒本町社会教育館は複合施設である南部地区センター全体の改修工事も行っているため、他の社会教育館よりも高くなっています。緑が丘文化会館も改修工事を除くと、大きな改修工事を行っていない青少年プラザとほぼ同程度となります。

図表 全体 トータルコスト（平成22年度）



図表 施設別トータルコスト（平成22年度）



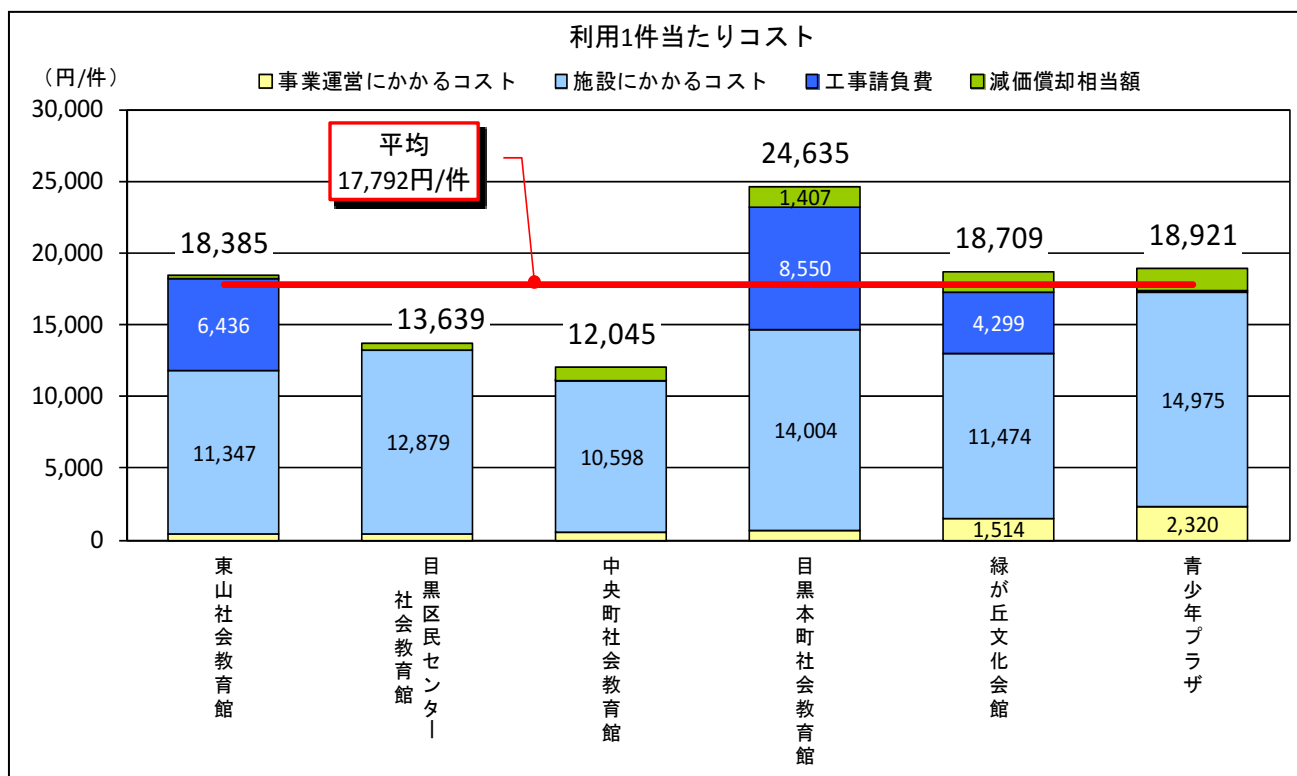
### ウ 分析・評価

#### (ア) 利用1件当たりにかかるコスト

利用1件当たりにかかるコストは、平均1万7,792円/件です。施設別にみると、中央町社会教育館1万2,045円/件から目黒本町社会教育館2万4,635円/件までとなっています。

大きな改修工事を行っている工事請負費を除くと、稼働率が低い青少年プラザが1万8,921円/件と比較的割高となっています。

図表 利用1件当たりコスト(平成22年度)





## ○ 体育施設

## ア 施設概要

## (ア) 施設一覧

区の体育施設として、駒場体育館等10施設あります。10施設の中には、体育館を中心にプールやトレーニング室、庭球場を保有した体育館施設が5施設、野球場やサッカー場がある砧球技場及び宮前公園庭球場、小学校内のプール施設3施設があります。

小学校内のプール施設は、小学校のプールと区民のスポーツ施設としてのプール利用を兼用した施設です。

機能ごとにみると、体育館機能及びプール機能は5地区に設置されています。トレーニング室、庭球場は4箇所に配置されています。

設置目的 区民のスポーツ・レクリエーションの振興を図り、心身の健全な発達に寄与するため

事業内容 スポーツ・レクリエーションの指導及び普及に関すること。  
体育施設の利用に関すること。

図表 施設一覧

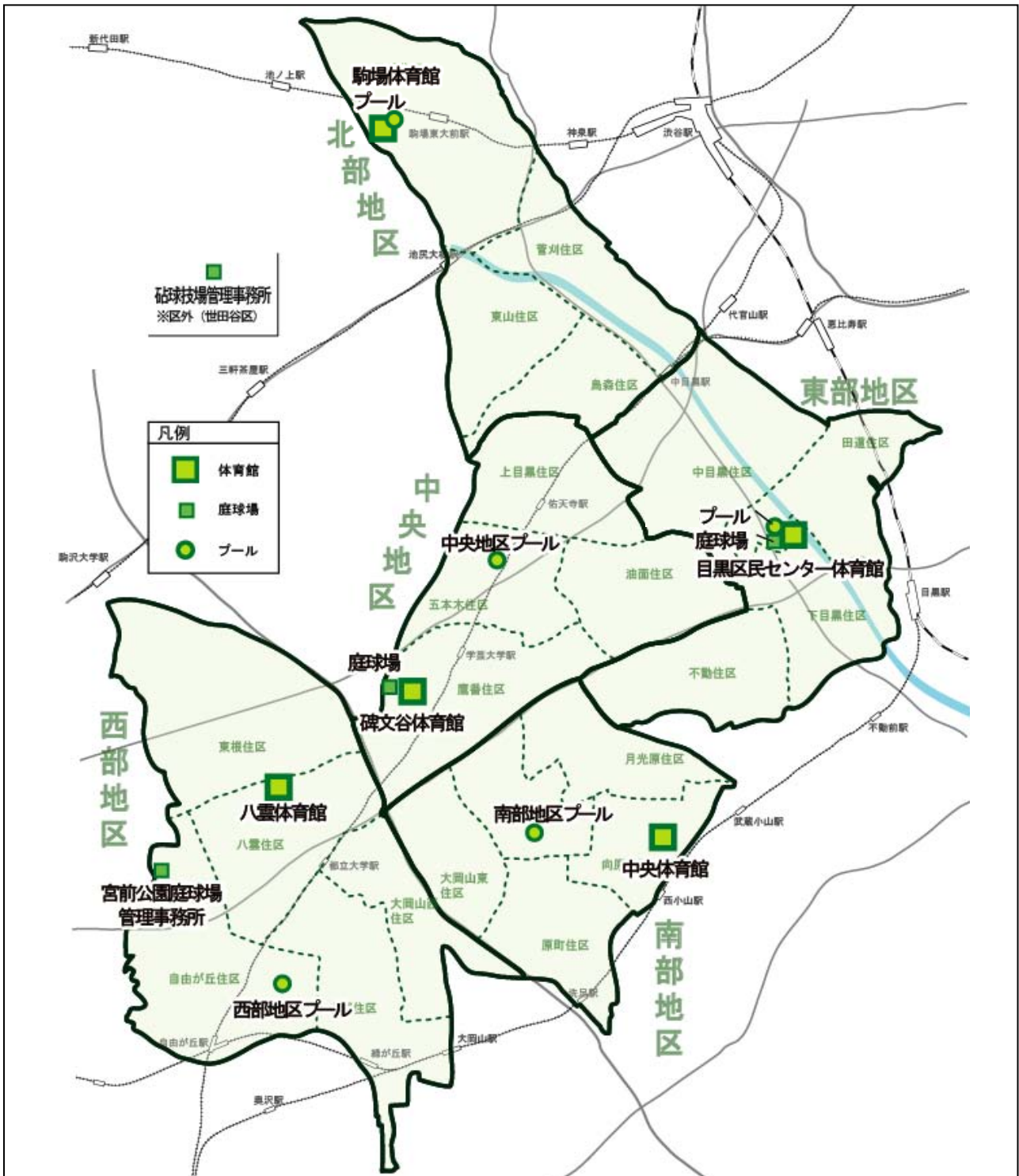
整理 No.	名称	住所	延床 面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	施設機能								備考
						体 育 館	武 道 場 等	プ ール	ト レ ー ニ ン グ 室	庭 球 場	野 球 場	サ ッ カ ー 場	ポ ー ゲ ー ト	
T001	1 駒場体育館	駒場2-19-39	3,705.19	昭和60	RC造	●		●	●	●			●	
T002	2 目黒区民センター体育館	目黒2-4-36	4,183.28	昭和49	SRC造	●		●	●	●				目黒区民 センター内
T003	3 碑文谷体育館	碑文谷6-12-43	3,058.38	昭和43	RC造	●				●	●			
T004	4 中央体育館	目黒本町5-22-8	5,101.03	昭和42	RC造	●	●		●					
T005	5 八雲体育館	八雲1-1-1	1,750.00	平成13	SRC造	●			●					めぐろ区民 キャンパス内
T006	6 砧球技場管理事務所	世田谷区 喜多見1-12-2	297.81	昭和43	S造						●	●		
T007	7 宮前公園庭球場管理事務所	八雲3-19-12	33.12	昭和63	S造					●				
T008	8 中央地区プール	五本木2-24-3	—	平成6	RC造			●						五本木小学校内
T009	9 南部地区プール	碑文谷1-18-14	—	平成19	RC造			●						碑小学校内
T010	10 西部地区プール	緑が丘2-13-1	—	昭和61	RC造			●						緑ヶ丘小学校内
合 計			18,128.81	—										

※地区プールの面積は小学校に含まれる。

(イ) 配置状況

配置状況を見ると、体育館施設とプール施設が5地区に1施設ずつ配置されています。他に庭球場施設等が配置されています。

図表 施設配置



(ウ) 運営日、運営時間

名称	運営時間	休館日	年間運営日数
駒場体育館	9:00~22:00	年末年始	357日
目黒区民センター体育館	9:00~22:00		
碑文谷体育館	9:00~22:00		
中央体育館	9:00~22:00		
八雲体育館	9:00~22:00		
砧球技場管理事務所	6:30~18:30		
宮前公園庭球場管理事務所	9:00~17:00		
中央地区プール	9:00~22:00		
南部地区プール	9:00~22:00		
西部地区プール	9:00~22:00		

(エ) 貸出施設 申込方法

利用申込：利用団体登録が必要です

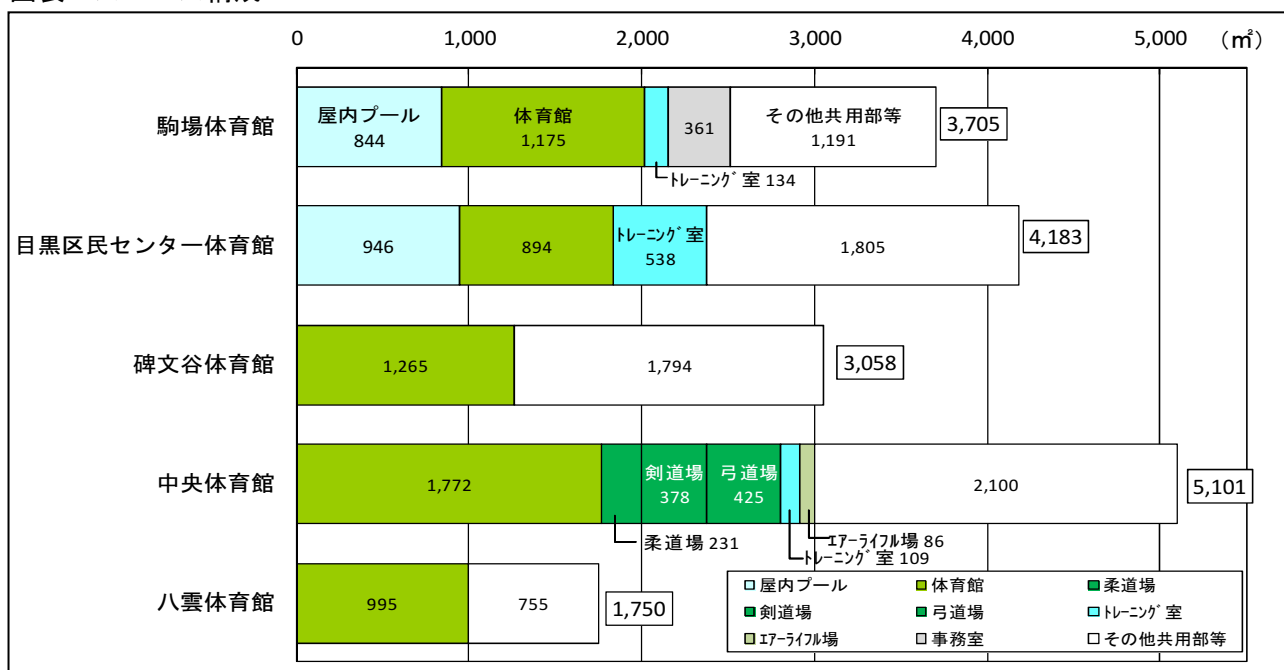
申込開始日は施設により異なります

使用料：時間帯や施設により異なります

(オ) スペース構成

グラウンド等で構成されている砧野球場・サッカー場及び宮前公園庭球場を除く8施設のスペース構成をみると、体育館は目黒区民センター体育館894㎡から中央体育館1,772㎡と様々な体育館があります。屋内温水プールは全て900㎡程度の施設となっています。

図表 スペース構成



イ 実態把握

(ア) 建物総合評価

砧球技場管理事務所は、耐震化が未整備です。また、築30年以上を経過しており、これまでに大規模改修等の老朽化対策を行っていないため、老朽化も進行しています。今後、耐震化と老朽化対策が必要です。

目黒区民センター体育館等3施設は、耐震安全性は確保されていますが、築30年以上を経過し、老朽化が進行しています。今後老朽化対策が必要な施設です。

駒場体育館等3施設は、新耐震基準の建物ですが、今後10年～20年で老朽化が進むことが懸念されます。今後、計画的な老朽化対策の検討が必要な施設です。

八雲体育館等3施設は、比較的新しい施設です。環境対応については、特に問題はありません。

図表 建物総合評価（平成24年度）

	耐震性 老朽化	老朽化	今後 老朽化	問題なし
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・特に問題がない施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度 砧球技場管理事務所 昭和43</p> <p>&lt; 1 施設 &gt;</p>	<p>該当施設 建築年度 目黒区民センター体育館 昭和49 碑文谷体育館 昭和43 中央体育館 昭和42</p> <p>&lt; 3 施設 &gt;</p>	<p>該当施設 建築年度 駒場体育館 昭和60 宮前公園庭球場管理事務所 昭和63 西部地区プール 昭和61</p> <p>&lt; 3 施設 &gt;</p>	<p>該当施設 建築年度 八雲体育館 平成13 中央地区プール 平成6 南部地区プール 平成19</p> <p>&lt; 3 施設 &gt;</p>
コメント	<p>・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・耐震改修工事は完了しているものの、築30年以上と老朽化が進行しており、大規模改修工事などの対応が必要です。</p>	<p>・いずれも新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・特に問題のない施設です。</p>

(イ) 利用状況

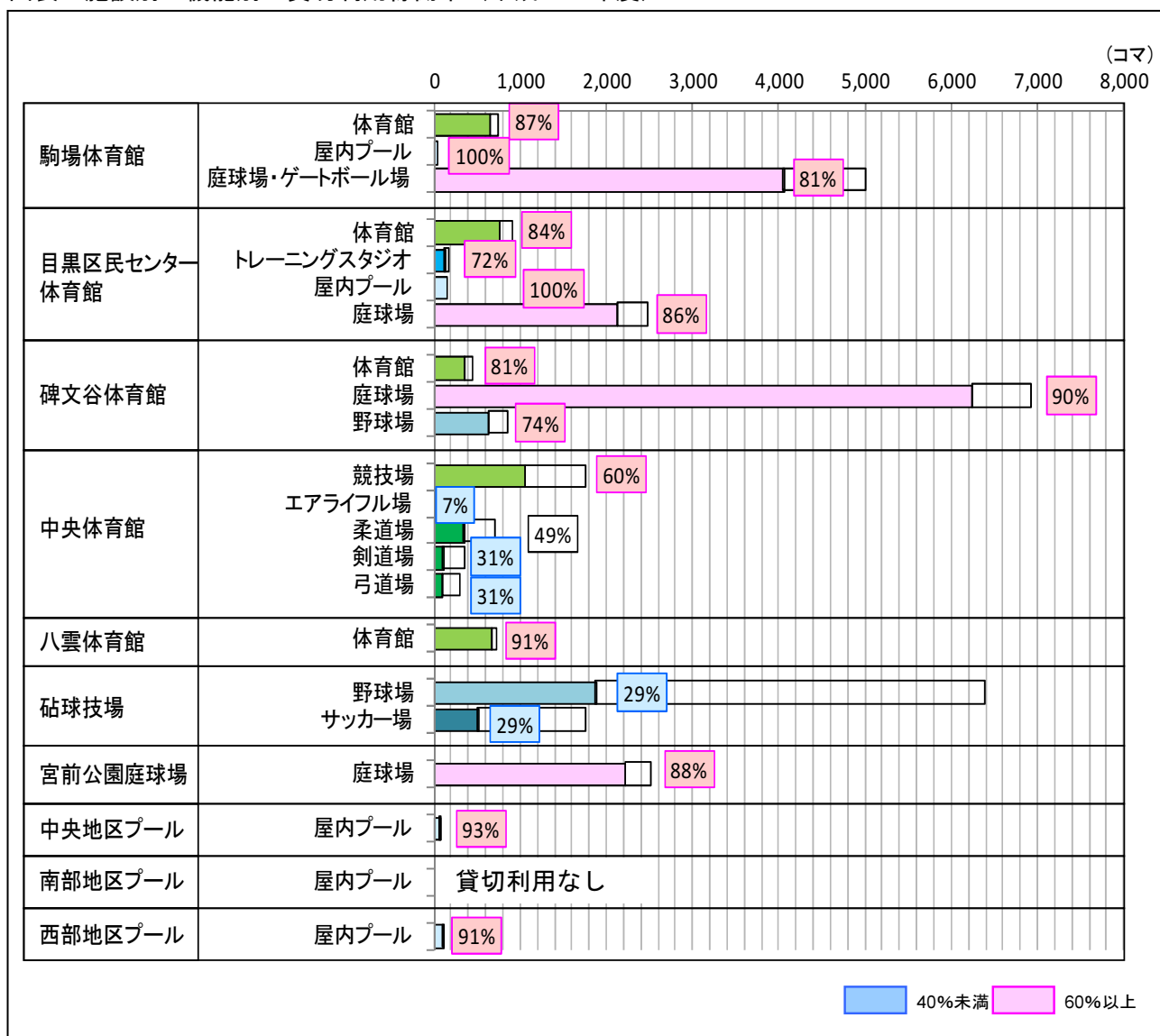
体育施設には、団体等による「貸切利用」、個人利用が可能な「一般公開利用等」があります。利用状況は、施設ごとに把握しています。

■ 貸切利用

各施設の機能別の貸切利用の稼働率をみると、体育館機能、屋内プール、庭球場は全施設とも60%以上の稼働率となっています。

中央体育館の柔道場、剣道場、弓道場、エアライフル場といった特殊施設は稼働率が40%未満と低くなっています。世田谷区にある砧野球場・サッカー場も低い稼働率となっています。

図表 施設別・機能別 貸切利用稼働率（平成22年度）

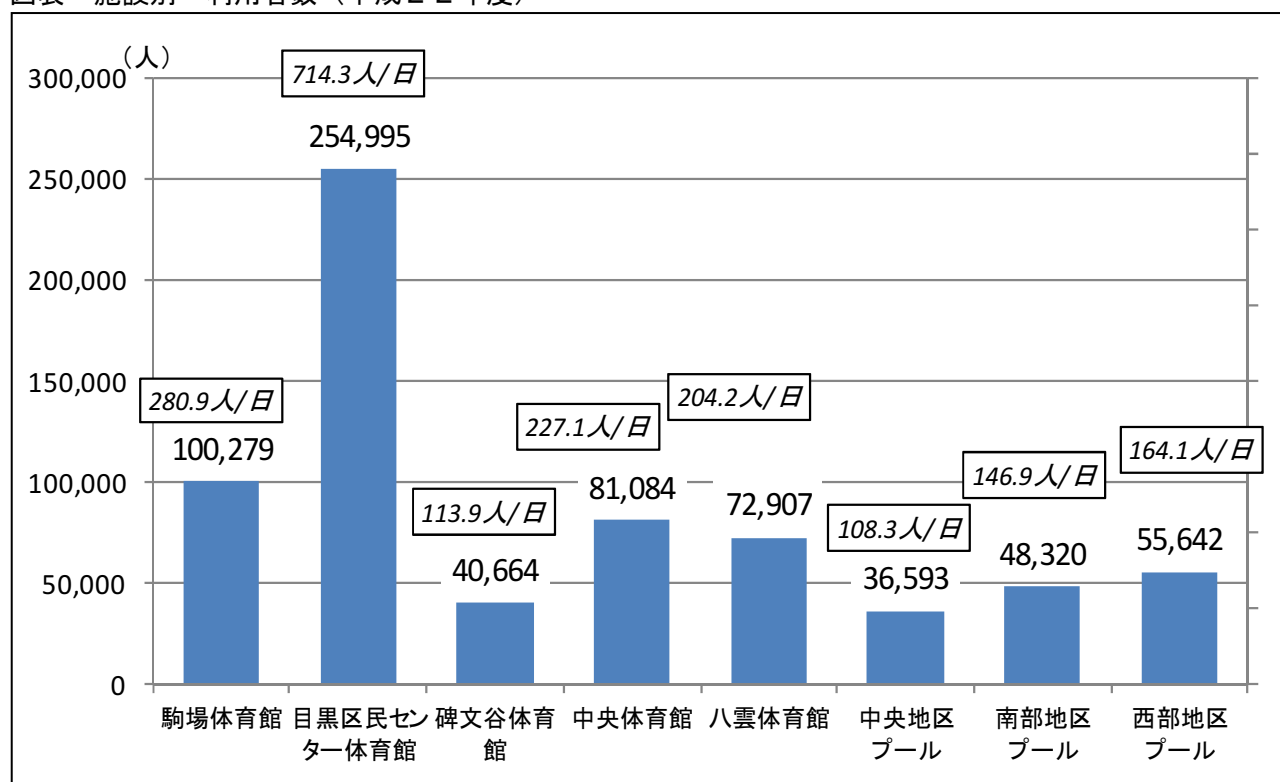


### ■ 一般公開利用等

一般公開利用等を行っている体育館等やプール施設計8施設の平成22年度の利用者数をみると、碑文谷体育館4万664人（1日当たり113.9人/日）から目黒区民センター体育館25万4,995人（1日当たり714.3人/日）となっています。

目黒区民センター体育館は、トレーニング室や屋内プールといった個人で利用する機能が多く、またJR駅が最寄り駅であるなど交通の便が良いことから、利用が多くなっています。

図表 施設別 利用者数（平成22年度）



### (ウ) 運営状況

地区プール施設3施設を除く7施設は、指定管理者制度を導入して運営しています。地区プール施設3施設は、維持管理を業務委託して運営しています。

## (エ) コスト状況

平成22年度の体育施設の10施設の年間トータルコストは、9億3,804万円です。

内訳をみると、施設にかかるコスト(委託費、光熱水費、工事請負費等)が8億8,609万円と全体の94.5%を、減価償却相当額が4,535万円と全体の4.8%を占めています。

体育施設10施設のうち小学校内にある地区プール施設3施設を除く7施設については、指定管理者による管理運営を行っているため、施設にかかるコスト内の人件費、事業運営費、光熱水費(複合施設を除く)等については指定管理者の負担となっています。

また、指定管理者により管理運営を行っている施設は、利用料金制を採用しているため、利用料金収入等は指定管理者が管理運営費に充てています。さらに、当該会計年度ごとの収支において余剰金が生じた場合は一定割合を区に還元することとしています。

図表 施設別 行政コスト計算書(平成22年度)

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		駒場 体育館	目黒区民 センター 体育館	碑文谷 体育館	中央 体育館	八雲 体育館	砧球技場管理 事務所	宮前公園庭球 場管理事務所	中央地区 プール	南部地区 プール	西部地区 プール	合計
施設 にか か る コ ス ト	職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	修繕費	0	0	0	0	0	0	0	366,418	38,850	375,270	780,538
	工事請負費	9,346,050	0	0	2,257,500	86,625	9,639,000	0	0	0	0	21,329,175
	光熱水費	0	25,328,940	0	0	7,800,031	0	0	31,384,000	26,937,000	30,586,000	122,035,971
	委託料	164,874,440	115,889,616	84,397,221	101,372,680	63,716,883	34,125,420	516,000	47,619,180	55,427,452	44,100,000	712,038,892
	賃借料・共益費	0	6,867,000	0	14,885,388	7,712,725	0	0	0	0	0	29,465,113
	その他経費	238,717	16,800	9,450	128,625	0	0	11,760	37,590	0	0	442,942
施設にかかるコスト	174,459,207	148,102,356	84,406,671	118,644,193	79,316,264	43,764,420	527,760	79,407,188	82,403,302	75,061,270	886,092,631	
に事業 か運 営 する コ ス ト	業務委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他経費	0	0	0	0	0	0	2,039,516	1,905,217	2,649,815	6,594,548	6,594,548
	事業運営にかかるコスト	0	0	0	0	0	0	2,039,516	1,905,217	2,649,815	6,594,548	6,594,548
現金収支を伴うコスト 計	174,459,207	148,102,356	84,406,671	118,644,193	79,316,264	43,764,420	527,760	81,446,704	84,308,519	77,711,085	892,687,179	
【収入の部】												
収入	利用料金収入等	0	0	0	0	0	0	0	9,800,100	11,309,900	14,237,950	35,347,950
	国補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	都補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他収入	830,766	1,964,443	2,222,328	2,009,555	372,548	664,268	0	0	0	0	8,063,908
収入の合計	830,766	1,964,443	2,222,328	2,009,555	372,548	664,268	0	9,800,100	11,309,900	14,237,950	43,411,858	
II. 現金収支を伴わないもの												
コスト	減価償却相当額	10,258,798	6,557,630	0	8,296,528	20,143,215	0	95,484	※1	※2	※3	45,351,655
III. 総括												
コストの部合計(トータルコスト)		184,718,005	154,659,986	84,406,671	126,940,721	99,459,479	43,764,420	623,244	81,446,704	84,308,519	77,711,085	938,038,834
収支差額(ネットコスト)		183,887,239	152,695,543	82,184,343	124,931,166	99,086,931	43,100,152	623,244	71,646,604	72,998,619	63,473,135	894,626,976

※1 ただし、上記「施設にかかるコスト」には、指定管理者(7施設)による事業運営費が含まれている。また、「事業運営にかかるコスト」は、3施設(中央地区プール、南部地区プール、西部地区プール)において区が実施した水泳教室等の委託費である。

※2 中央地区プールの減価償却相当額は五本木小学校に含まれる。

※3 南部地区プールの減価償却相当額は碑小学校に含まれる。

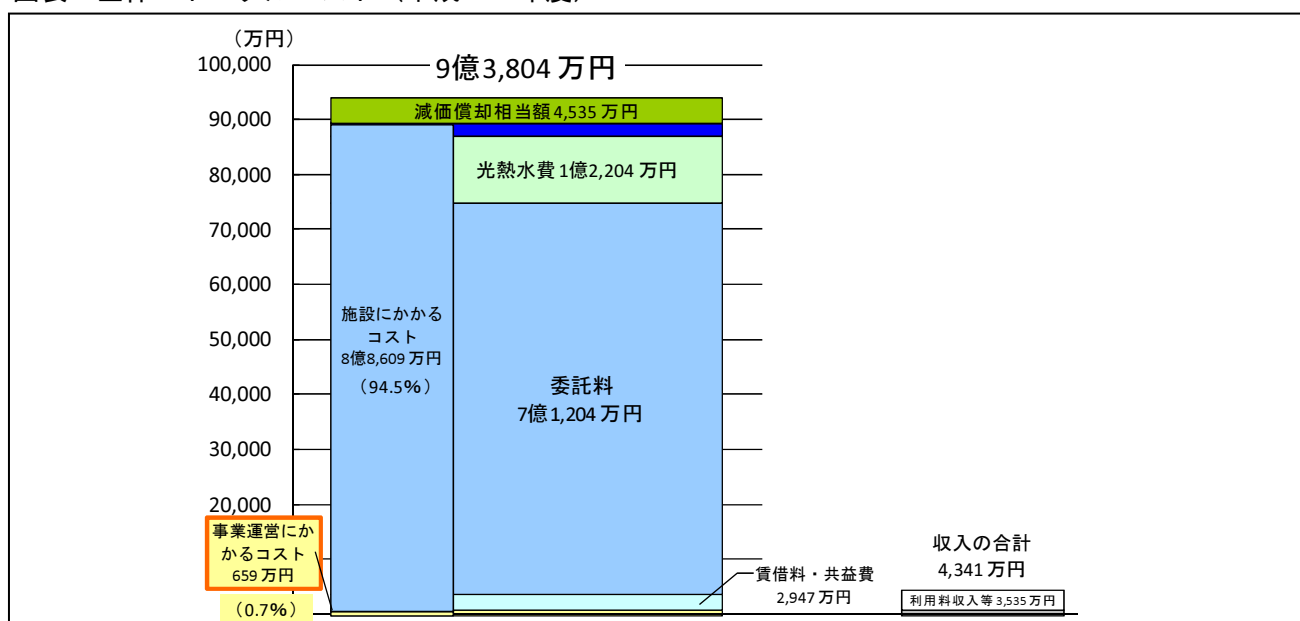
※4 西部地区プールの減価償却相当額は緑ヶ丘小学校に含まれる。

施設にかかるコスト8億8,609万円のうち、7億1,204万円（施設にかかるコストの80.4%）が指定管理料を含む委託費となっており、トータルコストの75.9%を占めています。他に、複合施設である区民センター体育館、八雲体育館及び小学校内にある地区プール施設3施設の光熱水費は1億2,204万円等となっています。

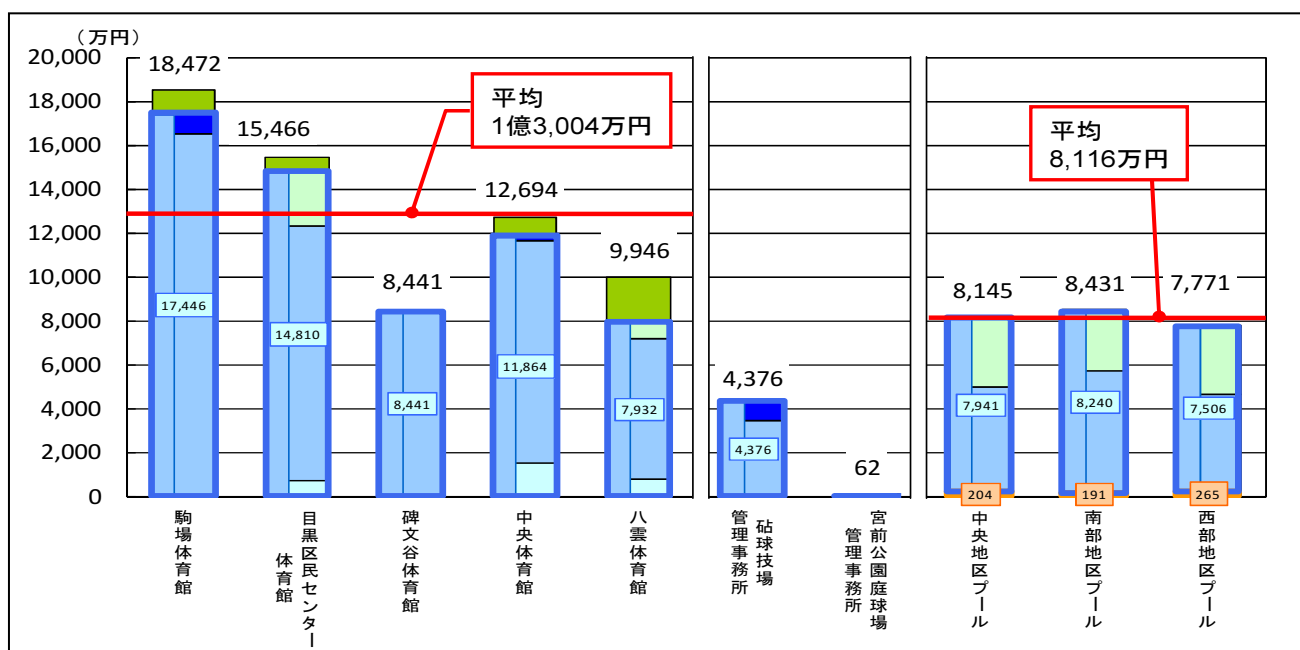
各施設の構成は、スペース構成のとおり異なりますが、施設別のトータルコストをみると、駒場体育館等の体育館施設5施設は、平均1億3,004万円で、碑文谷体育館8,441万円から駒場体育館1億8,472万円までとなっています。

小学校内にある地区プール施設3施設は、平均8,116万円で、西部地区プール7,771万円から南部地区プール8,431万円までとなっています。

図表 全体 トータルコスト（平成22年度）



図表 施設別トータルコスト（平成22年度）



※ 宮前公園庭球場管理事務所のコスト（62万円）は機械警備にかかる経費のみであり、その他のコストは、八雲体育館に含まれる。



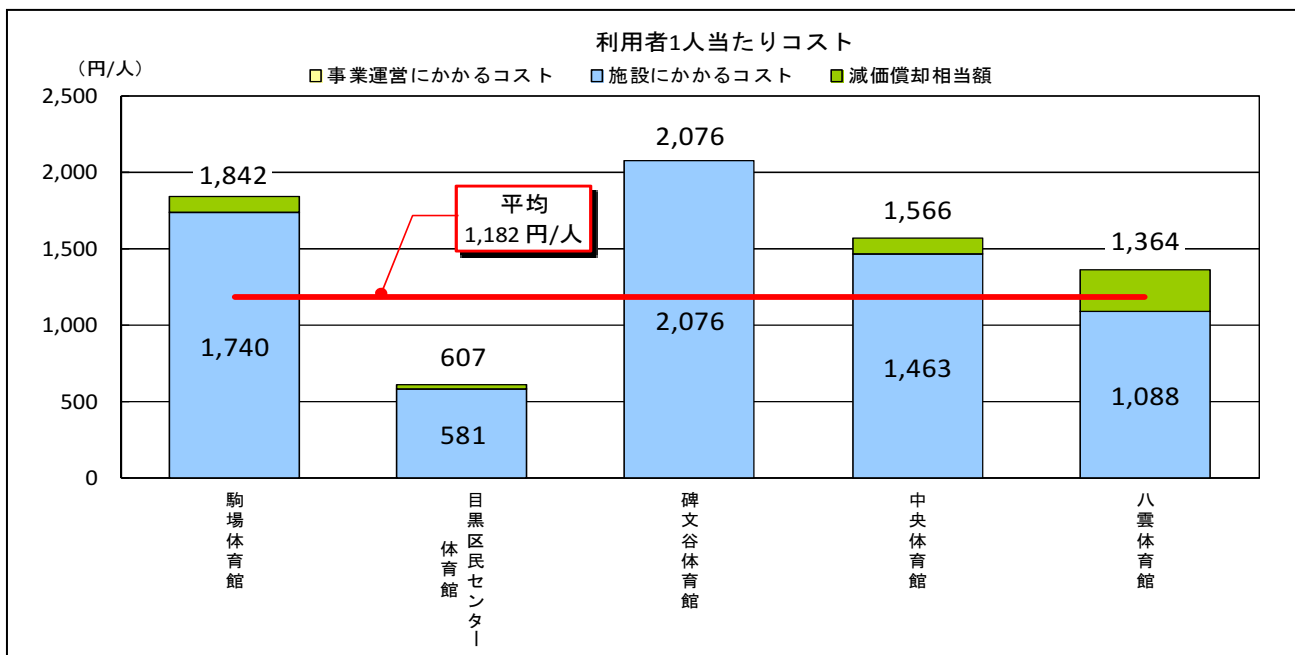
ウ 分析・評価

(ア) 利用者1人当たりにかかるコスト

【体育館施設】

利用者1人当たりにかかるコストは、平均1,182円/人です。施設別にみると、他施設と比較して利用者が多い目黒区民センター体育館607円/人からプール・トレーニング室がなく利用者が少ない碑文谷体育館2,076円/人まであります。

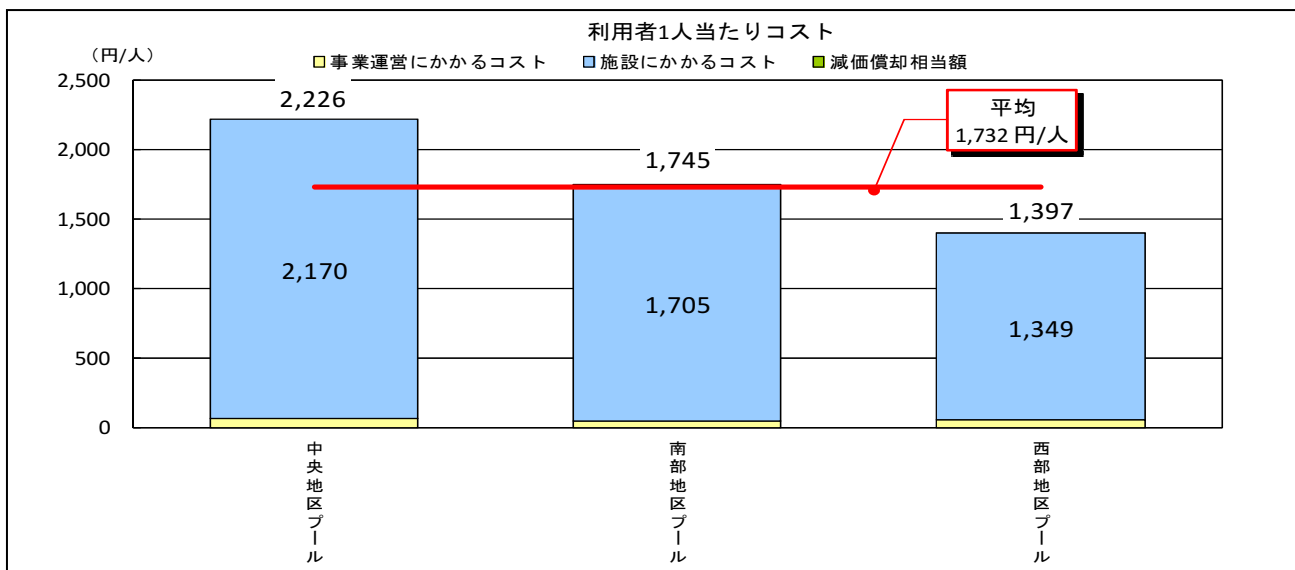
図表 体育館施設 利用者1人当たりコスト(平成22年度)



【地区プール施設】

利用者1人当たりにかかるコストは、平均1,732円/人です。施設別にみると、他施設と比較して利用者が多い西部地区プール1,397円/人から利用者が少ない中央地区プール2,226円/人まであります。

図表 地区プール施設 利用者1人当たりコスト(平成22年度)



※ 地区プールのコストには、学校利用にかかる施設経費も含まれる。

## ○ 図書館

## ア 施設概要

## (ア) 施設一覧

目黒区には、八雲中央図書館等8施設、延1万3,463㎡の図書館があります。施設規模は八雲中央図書館6,572㎡が最も大きく、その他に1,000㎡を超える図書館が4施設、600㎡～900㎡の図書館が3施設あります。

守屋図書館及び洗足図書館は図書館単独施設です。その他の図書館は、社会教育会館、学童保育クラブ及び体育館等の他の公共施設と併設しています。

設置目的 図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設

業務内容 ・図書・雑誌・新聞・地域資料・行政資料・記録・視聴覚資料その他必要な資料を収集・整理及び保存するとともに、閲覧及び貸出し等の利用に供すること。  
 ・図書館資料の利用のための相談に応ずること。  
 ・他の図書館・議会及び学校に付置する図書室等と連絡し、協力を行うこと。  
 ・読書会・研究会及び文庫活動等への援助・協力を行うこと。  
 ・講演会・読書会・鑑賞会・映写会及び展示会等を開催すること。  
 ・身体障害者の図書館利用を援助すること。  
 ・図書館資料の複写を行うこと。

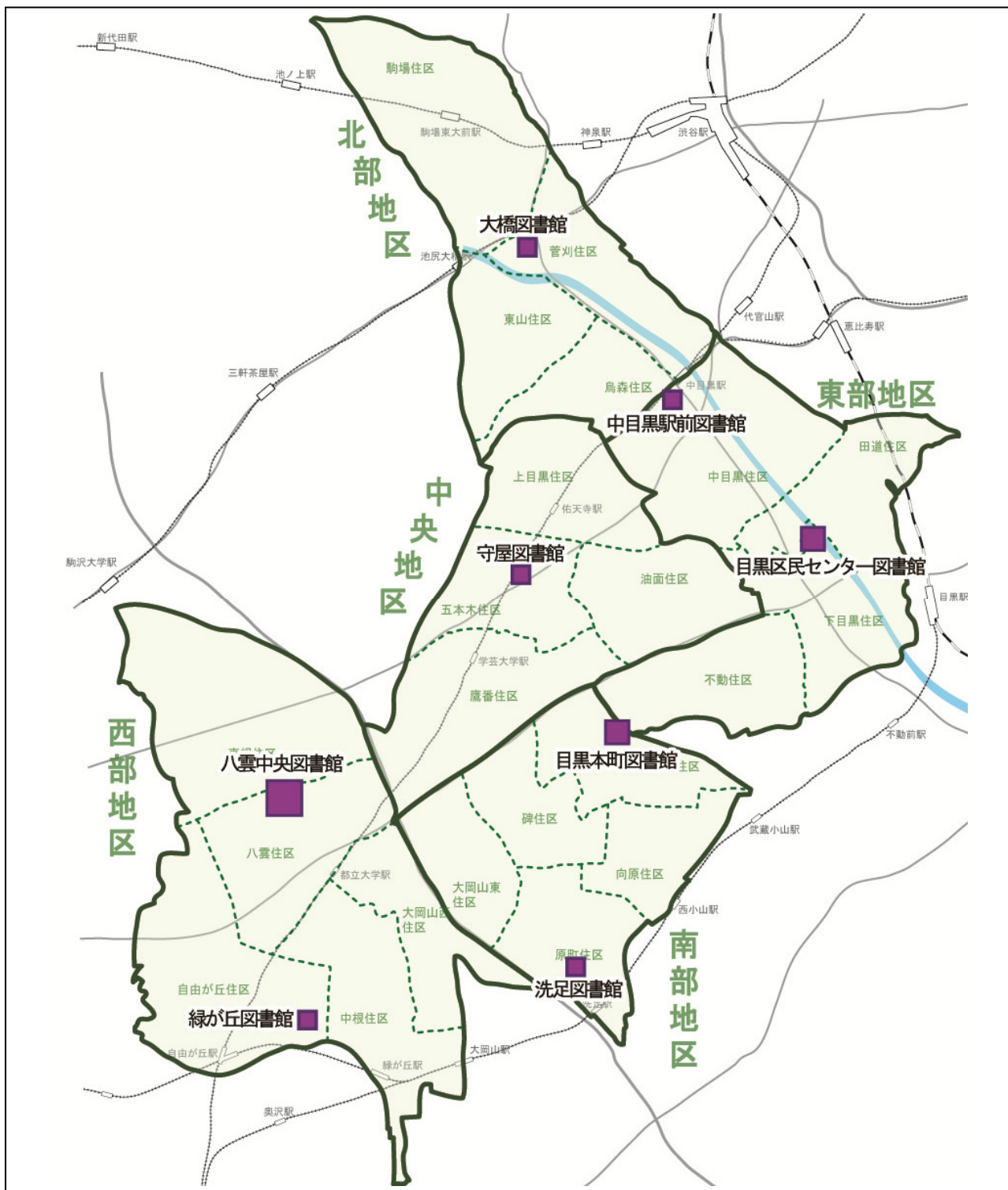
図表 施設一覧

整理No.	名称	住所	延床面積(㎡)	建築年度(年度)	構造	併設施設				備考
						社会教育会館	学童保育クラブ	体育館	その他	
U001	1 八雲中央図書館	八雲1-1-1	6,572.43	平成13	SRC造			○	○	めぐろ区民キャンパス内
U002	2 大橋図書館	大橋1-5-1	1,168.20	平成24	RC造				○	地区サービス事務所併設 25年2月移転
U003	3 中目黒駅前図書館	上目黒2-1-3	687.13	平成13	SRC造				○	ホール併設
U004	4 目黒区民センター図書館	目黒2-4-36	1,339.42	昭和49	SRC造	○	○	○		目黒区民センター内
U005	5 守屋図書館	五本木2-20-15	1,281.89	平成2	SRC造					
U006	6 目黒本町図書館	目黒本町2-1-20	1,005.21	昭和56	RC造	○	○		○	南部地区センター内
U007	7 洗足図書館	洗足2-8-26	516.60	昭和62	RC造					
U008	8 緑が丘図書館	緑が丘2-14-23	892.58	昭和49	RC造				○	緑が丘コミュニティセンター本館内
	合計		13,463.46	—		< 2施設>	< 2施設>	< 2施設>	< 5施設>	

(イ) 配置状況

図書館は、八雲中央図書館（西部地区）及び大橋図書館（北部地区）、目黒区民センター図書館（東部地区）、守屋図書館（中央地区）、目黒本町図書館（南部地区）等 8 施設を配置しています。

図表 施設配置



## (ウ) 運営日、運営時間

八雲中央図書館（西部地区）及び1,000㎡を超える図書館である大橋図書館（北部地区）、目黒区民センター図書館（東部地区）、守屋図書館（中央地区）、目黒本町図書館（南部地区）が各地区にあります。これらの図書館を補完する図書館として、その他の図書館3施設があります。

図表 運営日・運営時間（平成22年度）

名称	運営時間	休館日	年間 運営日数
八雲中央図書館	9:00~21:00 (日曜・祝日は9:00~17:00)	月曜・年末年始等	304
大橋図書館	9:00~19:00 (日曜・祝日は9:00~17:00)	月曜・年末年始等	305
中目黒駅前図書館	10:00~21:45 (日曜・祝日は10:00~18:00)	月曜・年末年始等	306
目黒区民センター 図書館	9:00~19:00 (日曜・祝日は9:00~17:00)	月曜・年末年始等	304
守屋図書館	9:00~19:00 (日曜・祝日は9:00~17:00)	月曜・年末年始等	303
目黒本町図書館	9:00~19:00 (日曜・祝日は9:00~17:00)	月曜・年末年始等	304
洗足図書館	9:00~19:00 (日曜・祝日は9:00~17:00)	月曜・年末年始等	287
緑が丘図書館	9:00~19:00 (日曜・祝日は9:00~17:00)	月曜・年末年始等	304

※ 平成24年度から下記のとおり開館時間を変更した。

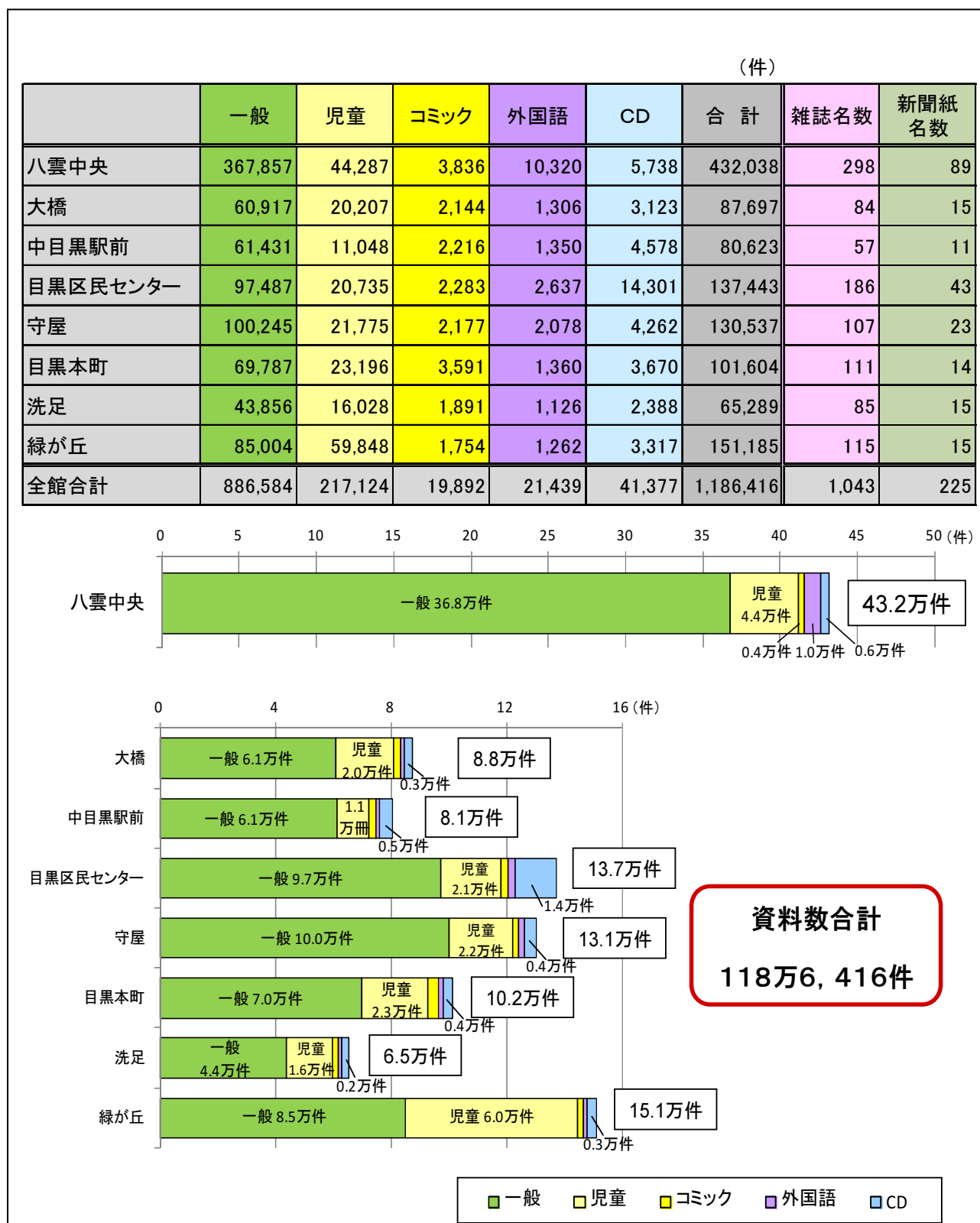
中目黒駅前図書館	12:00~21:45 (日曜・祝日は10:00~18:00)
洗足図書館	10:00~18:00 (日曜・祝日は9:00~17:00)
緑が丘図書館	11:00~19:00 (日曜・祝日は9:00~17:00)

(エ) 資料数

図書館は、118万6,416件の資料を所蔵しています。

施設別にみると、八雲中央図書館が43.2万件と最も多くなっています。その他の図書館をみると、緑が丘図書館が15.1万件、目黒区民センター図書館が13.7万件、守屋図書館が13.1万件、次いで目黒本町図書館が10.2万件となっています。

図表 資料数（平成22年度）



イ 実態把握

(ア) 建物総合評価

目黒区民センター図書館等3施設は、耐震安全性は確保されていますが、築30年以上を経過し、老朽化が進行しています。今後老朽化対策が必要な施設です。

守屋図書館等2施設は、新耐震基準の建物ですが、今後10年～20年で老朽化が進むことが懸念されます。今後、計画的な老朽化対策の検討が必要な施設です。

中目黒駅前図書館は、比較的新しい施設です。環境対応については、一部に未了のものがあります。八雲中央図書館と平成25年2月に移転の大橋図書館は、特に問題はありません。

図表 建物総合評価（平成24年度）

	老朽化	今後 老朽化	環境対応	問題なし																								
評価	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・環境対応が未完了 ⇒今後、環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>	<p>・特に問題がない施設</p>																								
該当施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目黒区民センター図書館</td> <td>昭和49</td> </tr> <tr> <td>目黒本町図書館</td> <td>昭和56</td> </tr> <tr> <td>緑が丘図書館</td> <td>昭和49</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt; 3 施設 &gt;</p>	該当施設	建築年度	目黒区民センター図書館	昭和49	目黒本町図書館	昭和56	緑が丘図書館	昭和49	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>守屋図書館</td> <td>平成2</td> </tr> <tr> <td>洗足図書館</td> <td>昭和62</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt; 2 施設 &gt;</p>	該当施設	建築年度	守屋図書館	平成2	洗足図書館	昭和62	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中目黒駅前図書館</td> <td>平成13</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt; 1 施設 &gt;</p>	該当施設	建築年度	中目黒駅前図書館	平成13	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八雲中央図書館</td> <td>平成13</td> </tr> <tr> <td>大橋図書館</td> <td>平成24</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt; 2 施設 &gt;</p>	該当施設	建築年度	八雲中央図書館	平成13	大橋図書館	平成24
該当施設	建築年度																											
目黒区民センター図書館	昭和49																											
目黒本町図書館	昭和56																											
緑が丘図書館	昭和49																											
該当施設	建築年度																											
守屋図書館	平成2																											
洗足図書館	昭和62																											
該当施設	建築年度																											
中目黒駅前図書館	平成13																											
該当施設	建築年度																											
八雲中央図書館	平成13																											
大橋図書館	平成24																											
コメント	<p>・耐震改修工事は完了しているものの、築30年以上と老朽化が進行しており、大規模改修工事などの対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>	<p>・特に問題のない施設です。</p>																								

※ 大橋図書館は、平成25年2月の移転後のデータ。

(イ) 利用状況

■ 全施設の貸出件数・貸出者数の推移

全8施設の図書館の貸出件数の推移をみると、平成12年度249.5万件から平成22年度465.0万件まで約2倍に増加しています。一方、貸出者数は平成12年度108.5万人から平成22年度139.1万人まで30.6万人(28.2%)増加しています。そのため、貸出者数1人当たりの貸出件数は平成12年度の2.3件から平成22年度の3.3件まで増加傾向となっています。

図表 全体の貸出件数・貸出者数の推移

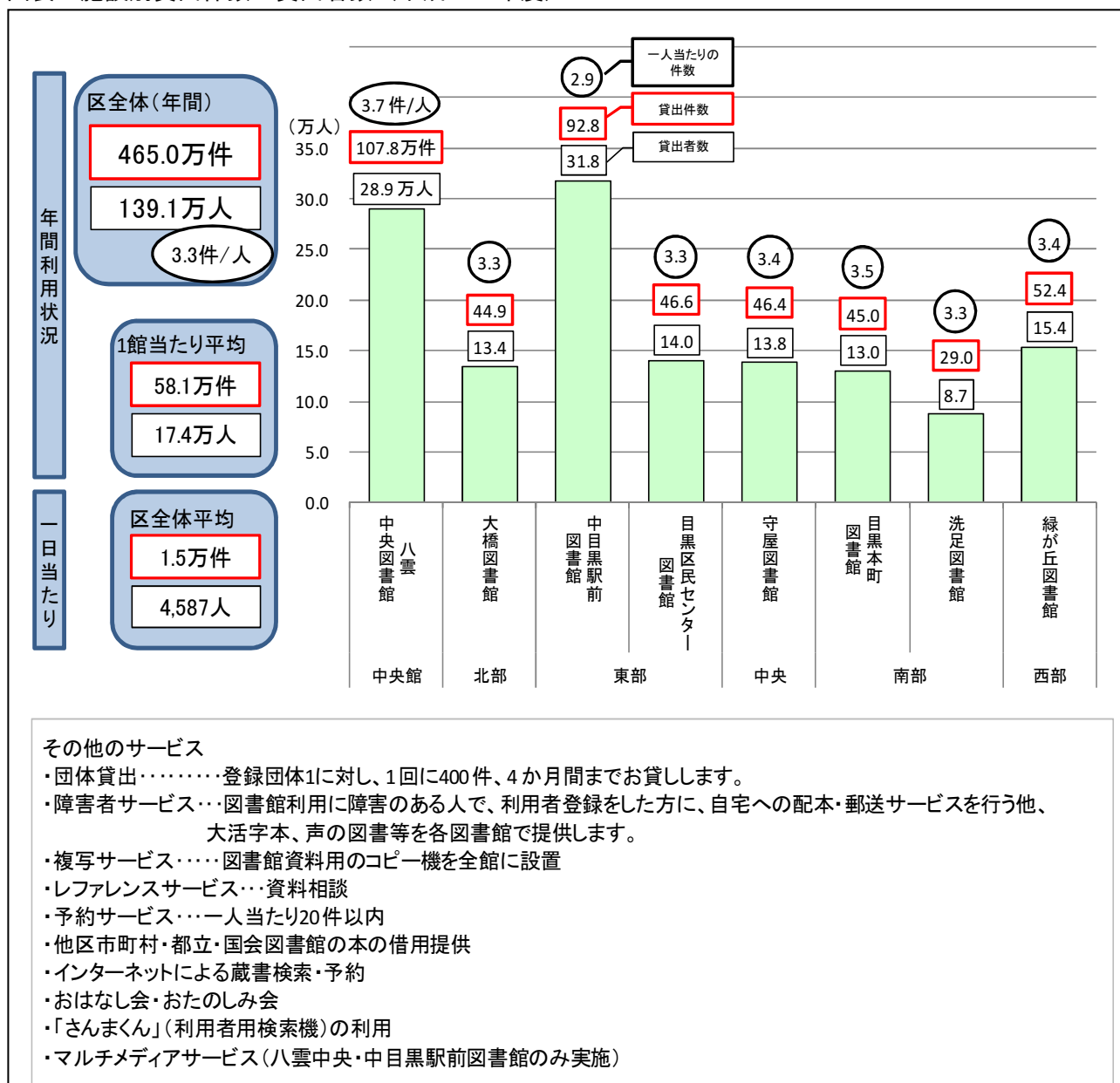


■ 施設別貸出件数・貸出者数

施設別にみると、資料数が最も多い八雲中央図書館は、年間貸出件数107.8万件、貸出者数28.9万人となっています。中目黒駅前図書館は貸出件数が92.8万件、貸出者数は八雲中央図書館を上回る31.8万人となっています。

その他の図書館は、年間貸出者数が約15万人程度と、八雲中央図書館、中目黒駅前図書館の約半分程度となっています。

図表 施設別貸出件数・貸出者数（平成22年度）

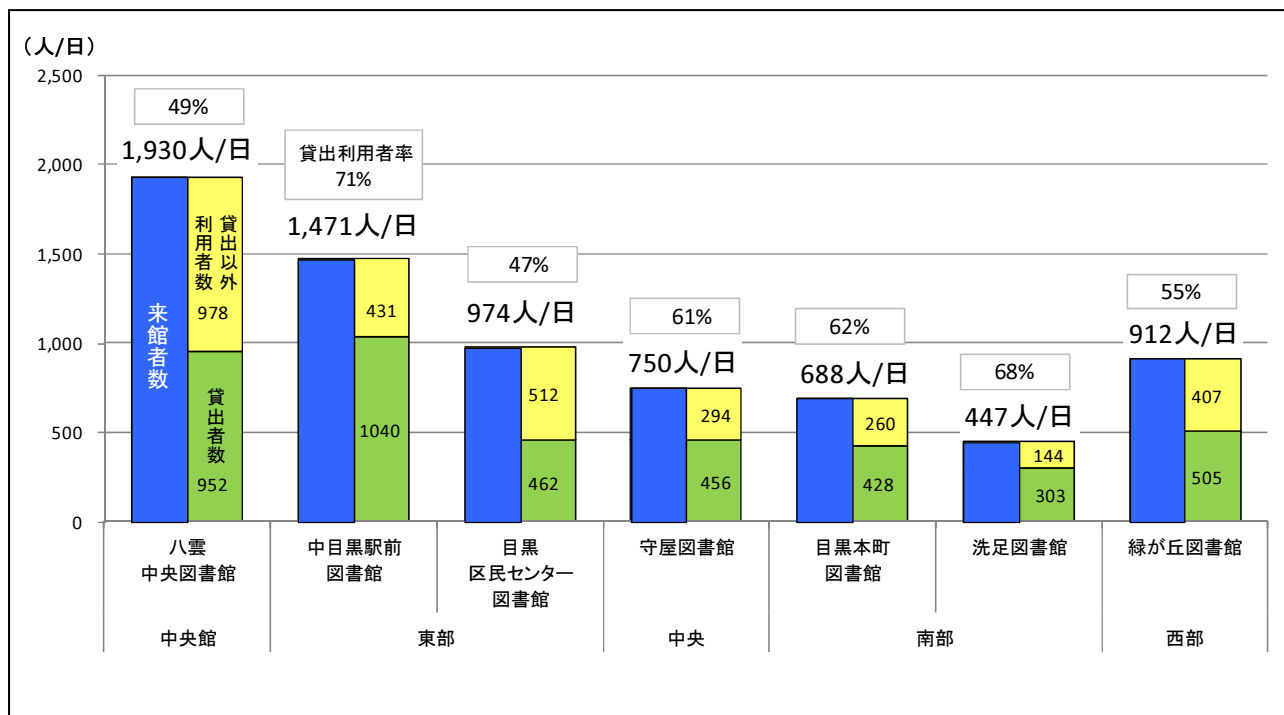




■ 来館者数

中目黒駅前図書館を除き、利用者数の多い図書館ほど貸出利用者と貸出を利用しない来館者の比率が1対1に近くなっていく傾向があります。中目黒駅前図書館では貸出利用者が全体の71%になっています。

図表 平成22年度来館者数 (平成25年2月移転の大橋図書館を除く)



資料：八雲中央図書館調べ

## (ウ) 運営状況

平成22年度の各施設の運営方式をみると、目黒区民センター図書館及び緑が丘図書館は区職員等による直営で行っていますが、その他の6施設は図書資料の貸出・返却等の窓口業務を委託して行っています。

各施設の運営人員をみると、直営施設である目黒区民センター図書館及び緑が丘図書館は常勤職員5人、非常勤職員19人の計24人が従事しています。窓口業務を委託している施設のうち、八雲中央図書館は、窓口業務の委託職員以外に区の常勤職員30人ほか従事しています。その他の5施設は、窓口業務の委託職員以外に区の常勤職員5人～6人が従事しています。

図表 施設別運営人員（平成22年度）

	運営方式	常勤職員	再任用職員	非常勤職員	合計
八雲中央図書館	直営 (窓口を委託)	30人	2人	8人	40人
大橋図書館	直営 (窓口を委託)	5人	0人	3人	8人
中目黒駅前図書館	直営 (窓口を委託)	6人	0人	0人	6人
目黒区民センター図書館	直営	5人	0人	19人	24人
守屋図書館	直営 (窓口を委託)	5人	0人	0人	5人
目黒本町図書館	直営 (窓口を委託)	6人	0人	0人	6人
洗足図書館	直営 (窓口を委託)	5人	0人	0人	5人
緑が丘図書館	直営	5人	0人	19人	24人
合計		67人	2人	49人	118人

※ 平成24年度から、目黒区民センター図書館・緑が丘図書館とも窓口を委託している。

## (エ) コスト状況

平成22年度の図書館8施設の年間トータルコストは、13億9,723万円です。  
1施設当たり平均1億7,465万円です。

内訳をみると、施設にかかるコスト（職員人件費、光熱水費、工事請負費等）が10億8,296万円と全体の77.5%を占めています。事業運営にかかるコスト（業務委託費等）は2億346万円（14.6%）、減価償却費が1億1,081万円となっています。

図表 施設別 行政コスト計算書（平成22年度）

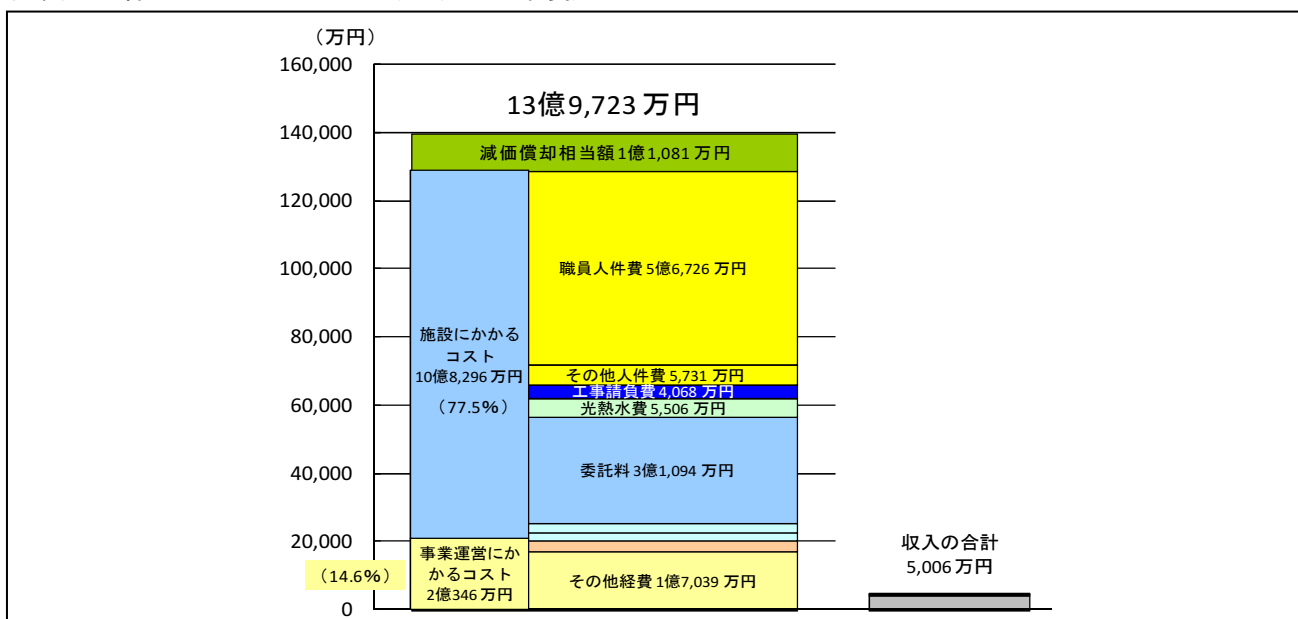
（円）

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		八雲中央図書館	大橋図書館	中目黒駅前図書館	目黒区民センター図書館	守屋図書館	目黒本町図書館	洗足図書館	緑が丘図書館	合計
施設にかかるコスト	職員人件費	257,566,000	41,850,000	50,220,000	41,850,000	41,850,000	50,220,000	41,850,000	41,850,000	567,256,000
	其他人件費	10,618,852	7,391,702	0	19,651,861	0	0	0	19,651,861	57,314,276
	修繕費	264,731	40,950	123,060	0	58,905	0	0	0	487,646
	工事請負費	13,059,123	696,045	1,082,214	0	1,386,923	0	24,459,151	0	40,683,456
	光熱水費	29,306,476	3,738,561	1,958,385	8,109,925	3,720,749	3,538,488	1,500,061	3,189,824	55,062,469
	委託料	128,524,889	26,472,125	34,575,391	12,143,949	37,470,533	38,134,025	25,042,971	8,573,520	310,937,403
	賃借料・共益費	28,978,448	0	0	0	0	53,572	0	112,607	29,144,627
	その他経費	3,860,353	22,154	17,399,172	361,789	21,923	26,308	21,923	361,789	22,075,411
	施設にかかるコスト	472,178,872	80,211,537	105,358,222	82,117,524	84,509,033	91,972,393	92,874,106	73,739,601	1,082,961,288
事業運営にかかるコスト	業務委託料	15,852,613	3,418,147	1,657,348	3,230,663	3,091,901	2,424,553	1,246,032	2,152,891	33,074,148
	その他経費	81,667,013	17,609,074	8,538,068	16,643,225	15,928,375	12,490,433	6,419,114	11,090,927	170,386,229
	事業運営にかかるコスト	97,519,626	21,027,221	10,195,416	19,873,888	19,020,276	14,914,986	7,665,146	13,243,818	203,460,377
現金収支を伴うコスト 計		569,698,498	101,238,758	115,553,638	101,991,412	103,529,309	106,887,379	100,539,252	86,983,419	1,286,421,665
【収入の部】										
収入	利用料収入等	0	2,546,525	0	0	0	0	0	0	2,546,525
	国補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	都補助金等	5,000,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000,000
	その他収入	36,519,377	0	5,956,280	0	0	0	36,550	0	42,512,207
収入の合計		41,519,377	2,546,525	5,956,280	0	0	0	36,550	0	50,058,732
II. 現金収支を伴わないもの										
コスト	減価償却相当額	75,651,347	2,469,378	13,358,331	2,174,369	8,098,186	2,833,586	1,838,143	4,382,829	110,806,169
III. 総括										
コストの部合計（トータルコスト）		645,349,845	103,708,136	128,911,969	104,165,781	111,627,495	109,720,965	102,377,395	91,366,248	1,397,227,834
収支差額（ネットコスト）		603,830,468	101,161,611	122,955,689	104,165,781	111,627,495	109,720,965	102,340,845	91,366,248	1,347,169,102

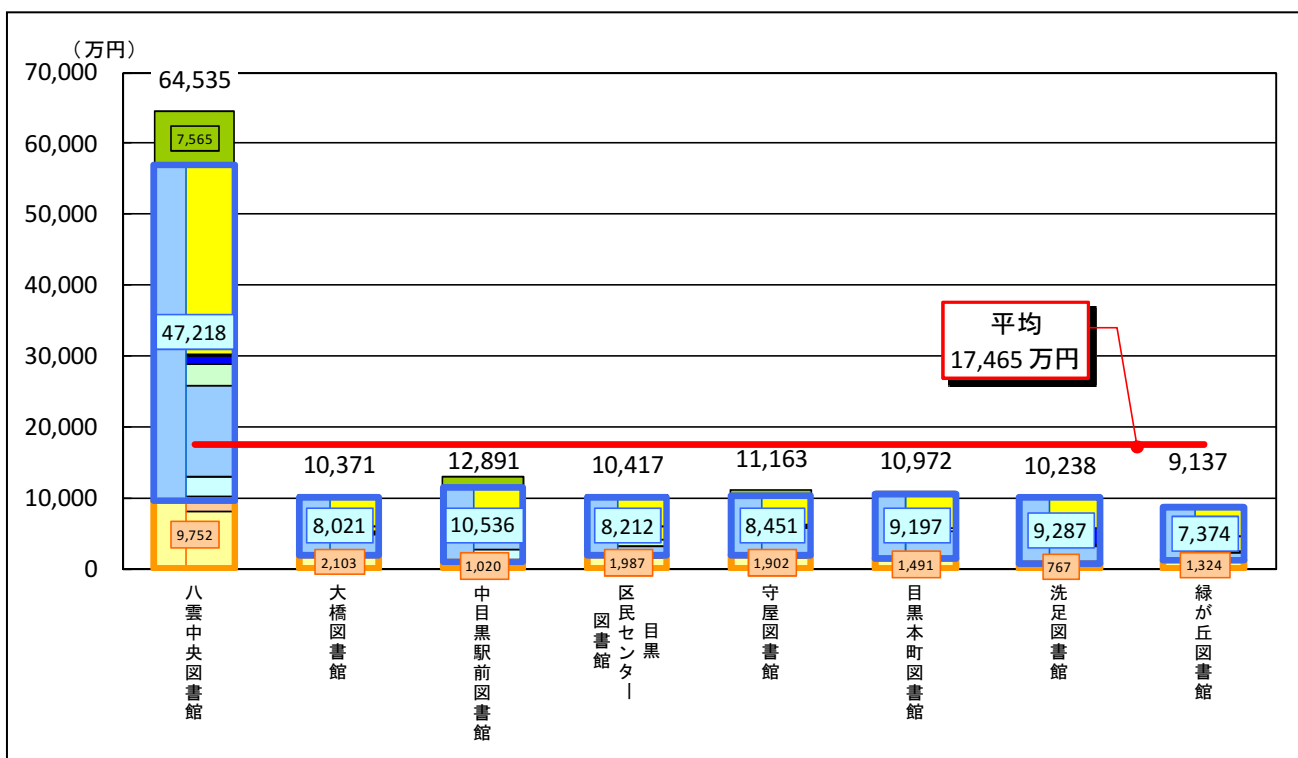
施設にかかるコスト10億8,296万円のうち、5億6,726万円（施設にかかるコストの52.4%）が区職員人件費、委託料が3億1,094万円（28.7%）となっています。

施設別のトータルコストをみると、八雲中央図書館は6億4,535万円となっています。その他の7施設のトータルコストは、ほぼ同程度で、約1億円程度となっています。

図表 全体 トータルコスト（平成22年度）



図表 施設別トータルコスト（平成22年度）

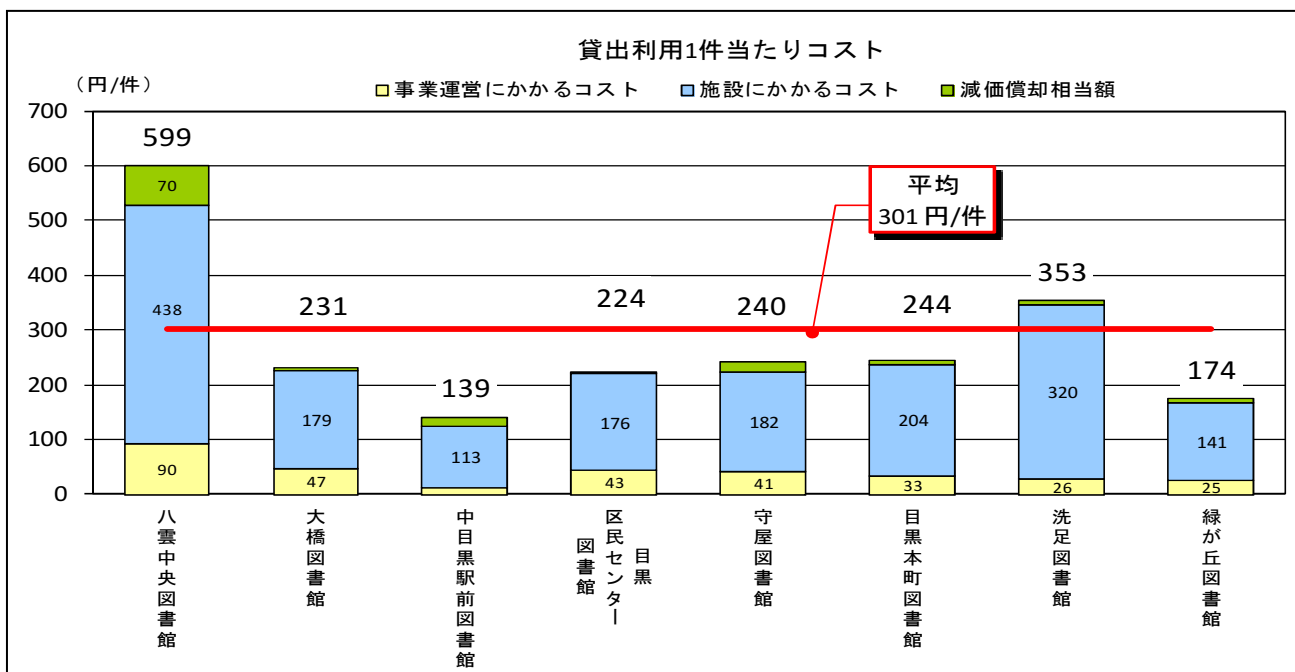


ウ 分析・評価

(ア) 貸出1件当たりにかかるコスト

貸出1件当たりにかかるコストは、平均301円/件です。施設別にみると、貸出利用が多い中目黒駅前図書館139円/件から八雲中央図書館599円/件となっています。

図表 貸出1件当たりコスト(平成22年度)



(イ) 利用者1人当たりにかかるコスト

利用者1人当たりにかかるコストは、平均1,004円/人です。施設別にみると、貸出利用が多い中目黒駅前図書館405円/人から八雲中央図書館2,230円/人があります。

図表 利用者1人当たりコスト(平成22年度)

